

DIGITAL CAMERA

X70

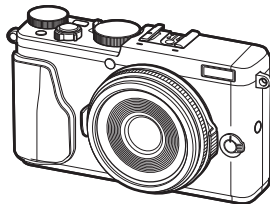
使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフィルムデジタルカメラ X70 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

X70 スペシャルサイト

<http://fujifilm-x.com/x70/>



本製品の内容については、オンラインマニュアルを併せてご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/manuals/>



はじめに

撮影の準備

基本撮影（静止画編）

静止画の撮影と再生

基本撮影（動画編）

動画の撮影と再生

Q（クイックメニュー）ボタン

Fn（ファンクション）ボタン

応用撮影

いろいろな撮影と再生

メニュー一覧

接続編

無線 LAN 機能

パソコンに転送

プリント

テレビで再生

カメラで使えるアクセサリ

お取り扱いにご注意ください

困ったときは / 資料





カメラをお使いになる前に


次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。



2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（ 149）をお読みください。

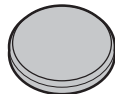


3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

- 充電式バッテリー NP-95（1 個）
- レンズキャップ（1 式）



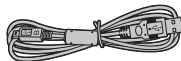
- AC パワーアダプター AC-5VF（1 個）
- ストラップリング
取り付け補助具（1 個）



- プラグアダプター（1 個）
仕向け国によって形状が異なります。
- ストラップリング（2 個）








- 専用 USB ケーブル（1 本）
- ストラップリングカバー（2 枚）
- ショルダーストラップ（1 本）
- 使用説明書（本書）
- 保証書（1 部）



本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

目次 →  5	トラブルシューティング / FAQ →  155
カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。	カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。
警告表示 →  163	索引 →  178
画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。	用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。
各撮影モードで使用できる機能について →  168	
撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。	

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

- ①：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ◆：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- 📄：参照ページを記載しています。

画面のイラストについて

本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。



お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようなお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、フジフィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。

目次

はじめに	2	基本撮影（静止画編）：静止画の撮影と再生	35
カメラをお使いになる前に	2	静止画を撮影する	35
本書について	3	静止画を再生する	37
お手入れについて	4	1 コマ再生	37
各部の名称	10	撮影時の情報確認	38
セレクトボタン	12	再生ズーム	39
オートモード切換レバー	13	マルチ再生	40
コマンドレバー	14	タッチ操作による再生	41
コントロールリング	14	画像を消去する	42
インジケータランプ	15	1 コマ消去	42
液晶モニターについて	15	複数指定消去	43
画面の表示	16	全コマ消去	43
静止画撮影時	16	基本撮影（動画編）：動画の撮影と再生	44
再生時	18	動画を撮影する	44
撮影の準備	20	外部マイクについて	45
ストラップを取り付ける	20	動画を再生する	46
バッテリーとメモリーカードを入れる	22	動画再生時の操作方法について	46
使用可能なメモリーカード	24	Q ボタン：Q（クイックメニュー）ボタン	47
バッテリーを充電する	25	Q ボタンを使う	47
電源をオンにする / オフにする	28	画面について	47
初期設定を行う	29	設定の確認と変更	48
言語、日時を変更する	30	クイックメニューの割り当て変更	49
ハイパフォーマンスの設定を変更する	30		
撮影モードのタッチ操作について	31		
情報表示について	32		
LCD 明るさ・LCD 鮮やかさ調整	34		

Fn ボタン：Fn (ファンクション) ボタン	50	 連写.....	74
ファンクションボタンを使う.....	50	ブラケット撮影.....	75
ファンクションボタンの割り当て変更.....	51	ぐるっとパノラマモード撮影.....	77
ファンクションボタンに割り当てられている機能.....	52	多重露出撮影.....	79
動画 (Fn1).....	52	 アドバンスフィルター.....	80
AF モード (Fn2).....	52	フィルムシミュレーションを使って撮影したい.....	81
セルフタイマー (Fn3).....	53	ピントに関する設定を変更したい.....	82
フラッシュモード (Fn4).....	54	ピント合わせの方法を変更 (フォーカスモード).....	82
フォーカスエリア選択 (Fn5).....	56	M (マニュアルフォーカス) での撮影方法.....	84
ワイヤレス通信 (Fn6).....	56	AF モードの選択.....	86
コントロールリング設定 (Fn7).....	57	フォーカスエリア選択.....	87
応用撮影：いろいろな撮影と再生	58	長時間露出で撮影したい.....	90
撮影モードを変更したい.....	58	タイム撮影 (T).....	90
プログラム (P).....	59	バルブ撮影 (B).....	90
シャッタースピード優先 (S).....	60	リモートリリース.....	91
絞り優先 (A).....	61	インターバルタイマーを使って撮影したい.....	92
マニュアル (M).....	62	AE/AF ロック撮影したい.....	93
オートモード撮影.....	63	RAW 画像を撮影・現像したい.....	95
デジタルテレコンを使って撮影したい.....	64	RAW 画像の撮影.....	95
ホワイトバランスを変更したい.....	65	RAW 画像の現像 (カメラ内 RAW 現像).....	96
ISO 感度を変更したい.....	68	撮影の設定を保存したい.....	98
露出を補正したい.....	70	画像を検索したい.....	99
明るさの測定方法を変更したい (測光モード).....	71	ピクチャーサーチ.....	99
自分撮りをしたい (セルフイー).....	72	フォトブックを作成したい.....	100
いろいろな仕上りの画像を撮影したい (ドライブボタン).....	73	フォトブックアシスト.....	100

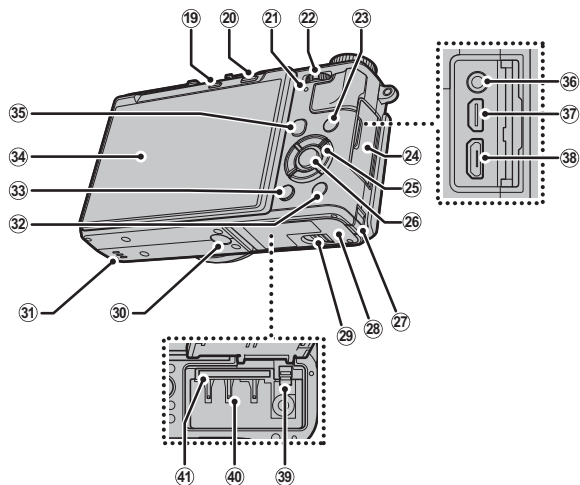
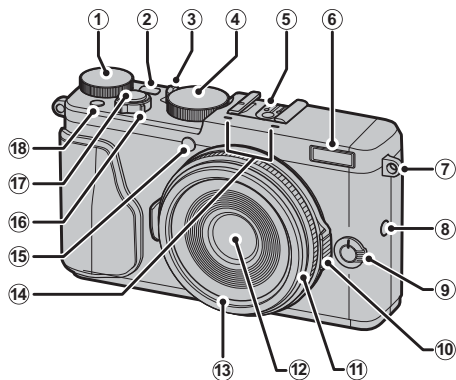
応用撮影：メニュー一覧	102	NR ノイズリダクション.....	107
撮影の設定を変える — 撮影メニュー	102	長時時ノイズ低減.....	107
撮影メニューの使い方.....	102	カスタム選択.....	107
撮影メニュー一覧.....	103	カスタム登録 / 編集.....	107
アドバンストフィルター.....	103	ワイドコンバージョンレンズ.....	108
シーン選択.....	103	コントロールリング設定.....	108
AF オートフォーカス設定.....	103	タッチパネルモード.....	108
ISO 感度.....	105	MF MF アシスト.....	108
画像サイズ.....	105	AE-L AE/AF-LOCK 設定.....	108
画質モード.....	105	AE/AF-L AE/AF-LOCK 機能選択.....	108
ダイナミックレンジ.....	106	測光.....	109
フィルム シミュレーション.....	106	MF/AF 測光 & フォーカスエリア連動.....	109
セルフタイマー.....	106	フラッシュ設定.....	109
インターバルタイマー撮影.....	106	動画設定.....	110
WB ホワイトバランス.....	106	フィルムシミュレーション BKT.....	110
Color カラー.....	106	ワイヤレス通信.....	110
Sharp シャープネス.....	107	シャッター方式.....	111
ハイライトトーン.....	107	デジタルテレコン.....	111
シャドウトーン.....	107		

再生の設定を変える — 再生メニュー	112	カメラの設定を変える — セットアップメニュー	118
再生メニューの使い方	112	セットアップメニューの使い方	118
再生メニュー一覧	113	セットアップメニュー一覧	119
ワイヤレス通信	113	日時設定	119
RAW 現像	113	世界時計	119
消去	113	言語/LANG	119
トリミング	113	リセット	119
リサイズ	114	電子音 & フラッシュ	120
プロテクト	114	音設定	120
画像回転	115	表示設定	121
赤目補正	115	操作ボタン / ダイヤル設定	122
スライドショー	116	コントロールリング	123
フォトブックアシスト	116	タッチパネル設定	123
ピクチャーサーチ	116	消費電力設定	123
PC 保存	116	保存設定	124
プリント予約 (DPOF)	116	色空間	124
instax プリンタープリント	116	接続設定	125
表示比率	117	フォーマット	126
		工場出荷時の設定値	127

接続編：無線 LAN 機能	129	カメラで使えるアクセサリ	144
無線 LAN 機能を使用する.....	129	アクセサリ.....	144
スマートフォンと通信する.....	129	別売アクセサリ.....	144
パソコンに画像を保存する.....	130	システム構成図.....	146
接続編：パソコンに転送	131	別売アクセサリの取り付け方.....	147
カメラをパソコンに接続して画像を転送する.....	131	ワイドコンバージョンレンズの使い方.....	148
Windows をお使いの方.....	131	お取り扱いにご注意ください	149
Mac (Macintosh) をお使いの方.....	131	困ったときは	155
カメラとパソコンを接続する.....	132	トラブルシューティング / FAQ.....	155
接続編：プリント	134	警告表示.....	163
プリンターにカメラをつないでプリントする.....	134	資料	167
プリンターに接続する.....	134	SD メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間.....	167
その場で選んでプリントする.....	134	各撮影モードで使用できる機能について.....	168
プリント予約した設定でプリントする.....	135	リンク集.....	172
プリントサービス店でプリントする		FUJIFILM X70 製品情報.....	172
(お店プリント).....	137	ファームウェア更新情報.....	172
プリントする画像を指定する		撮影の基礎知識.....	172
(🖨️ プリント予約 (DPOF)).....	138	デジタルカメラ撮影ガイド.....	172
instax SHARE プリンターで		FUJIFILM 無料アプリケーション.....	172
カメラの画像をプリントする.....	140	主な仕様.....	173
プリンターとの接続を設定する.....	140	索引.....	177
画像をプリントする.....	141	ソフトウェアのお問い合わせについて.....	181
接続編：テレビで再生	142	アフターサービスについて.....	182
テレビに接続する.....	142		

各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。




① 露出補正ダイヤル..... 70	⑱ 動画撮影ボタン.....44	㉔ バッテリーカバー.....22
② ドライブボタン 73、75、74、80、79、77	ファンクション (Fn1) ボタン 50、52	㉕ バッテリーカバーロック.....22
③ オートモード切替レバー..... 13、58	㉞ (消去) ボタン.....42	㉖ 三脚用ねじ穴 46
④ シャッタースピードダイヤル59、60、61、62	㉟ ファンクション (Fn8) ボタン.....50	㉗ Wi-Fi ボタン..... 129、130
⑤ ホットシュー.....55	㊱ (再生) ボタン.....37	ファンクション (Fn6) ボタン.....50
⑥ フラッシュ.....54	㊲ インジケーターランプ.....15	㉘ DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン...32
⑦ ストラップ取り付け部.....20	㊳ コマンドレバー..... 14、39、40	ファンクションボタンの割り当て 設定画面表示 (長押し).....51
⑧ コントロールリング設定ボタン...57	㉜ Q ボタン.....47	㉙ 液晶モニター (LCD)..... 15
ファンクション (Fn7) ボタン.....50	クイックメニュー登録 / 編集 (長押し).....47、49	㉚ AF-L/AE-L (AF ロック / AE ロック) ボタン..... 84、94、122
⑨ フォーカスモード切替レバー.....82	カスタム登録 (長押し).....12	㉛ マイク / リモートレリーズ端子45、91
⑩ 絞りリング.....59、60、61、62	RAW 現像 (再生時).....96	㉜ マイクロ HDMI 端子.....142
⑪ コントロールリング... 14、57、64	㉝ 端子カバー 25、45、91、132、134、142	㉝ マイクロ USB 端子 25、132、134
⑫ レンズ.....4	㉞ セレクター / ファンクションボタン 12、29、50	㉞ バッテリー取り外しつまみ.....23
⑬ フロントリング..... 147	㉟ MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン102、112、118	㉞ バッテリー挿入部.....22
⑭ マイク.....45	ボタンロック (長押し)..... 12、17	㉞ メモリーカードスロット.....23
⑮ AF 補助光ランプ.....104	㊴ DC カプラーカバー	
セルフタイマーランプ.....53		
⑯ 電源レバー.....28		
⑰ シャッターボタン.....36		

●● Q ボタン長押しについて

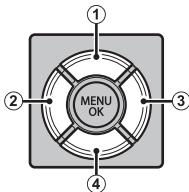
静止画撮影時のクイックメニュー表示中に (図 47)、Q ボタンを長押しすると、カスタム登録 / 編集画面を表示できません (図 98)。

●● 撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に  が表示され、セレクトボタン、Q ボタン、Fn6 ボタン、AF-L/AE-L ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、MENU/OK ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

セレクトボタン

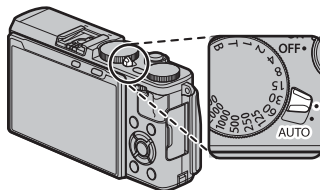
▲▼◀▶ (上下左右) ボタンを押して項目を選択したり、機能を使用したりできます。

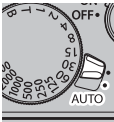
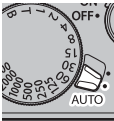


- ① 上に移動 (▲)、
AF モードボタン (図 52)
ファンクション (Fn2) ボタン (図 50)
- ② 左に移動 (◀)、
セルフタイマーボタン (図 53)
ファンクション (Fn3) ボタン (図 50)
- ③ 右に移動 (▶)、
フラッシュモードボタン (図 54)
ファンクション (Fn4) ボタン (図 50)
- ④ 下に移動 (▼)、
フォーカスエリア選択ボタン (図 56)
ファンクション (Fn5) ボタン (図 50)

オートモード切替レバー

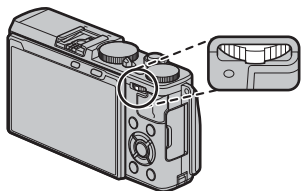
オートモード切替レバーの位置で撮影できるモードが異なります。



オートモード切替レバーの位置	撮影モード	📖
	<p>プログラムシフトができるオートモード（P：プログラム）、シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できるS（シャッタースピード優先）、A（絞り優先）、M（マニュアル）モードで撮影できます。</p>	59、60、61、62
	<p>ドライブモードが 📷 1 コマ撮影 のときに、カメラが撮影シーンを自動的に認識する 📷+ アドバンスト SR オート や、自分で好みの撮影シーンを決められる各種シーンで撮影できます。</p> <p>📷+ アドバンスト SR オートや各種シーンはコントロールリングや撮影メニューの 📷 シーン選択 で変更できます。</p>	63

- 📷 撮影モードや撮影条件によっては機能が制限される場合があります。詳細は「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください（📖 168）。
- 📷 ファームウェアのバージョンアップによって、使用できる機能が変更になる場合があります。

コマンドレバー



■ 左右に倒す

- プログラムシフトの調整 (59)
- シャッタースピードの微調整 (60、62)
- 再生時に画像を再生ズーム (39)
- 再生時に画像をマルチ再生 (40)

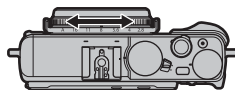


■ 中央を押す

- ピント位置の拡大表示 (83)
- マニュアルフォーカス時に長押しで、**MFアシスト**の設定切り換え (85)
- 再生時にピントを合わせた位置を拡大表示 (38)



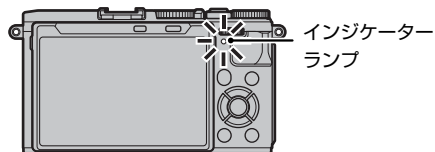
コントロールリング



撮影中にコントロールリングを回すと、割り当てられている機能の設定を簡単に変更できます。コントロール設定ボタン (**Fn7**) で、以下のいずれかの機能を割り当てます (57)。

- スタANDARD
- 感度
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- デジタルテレコン

インジケータランプ



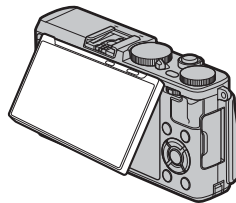
インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です (撮影できます)。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています (続けて撮影できます)。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています (続けて撮影できません)。
橙色点滅	フラッシュ充電中です (フラッシュは発光しません)。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

◆ 画面にも、警告表示が表示されます (163)。

液晶モニターについて

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。自分撮り (セルフイー) を行う時に便利です (72)。



**指挟み
注意**

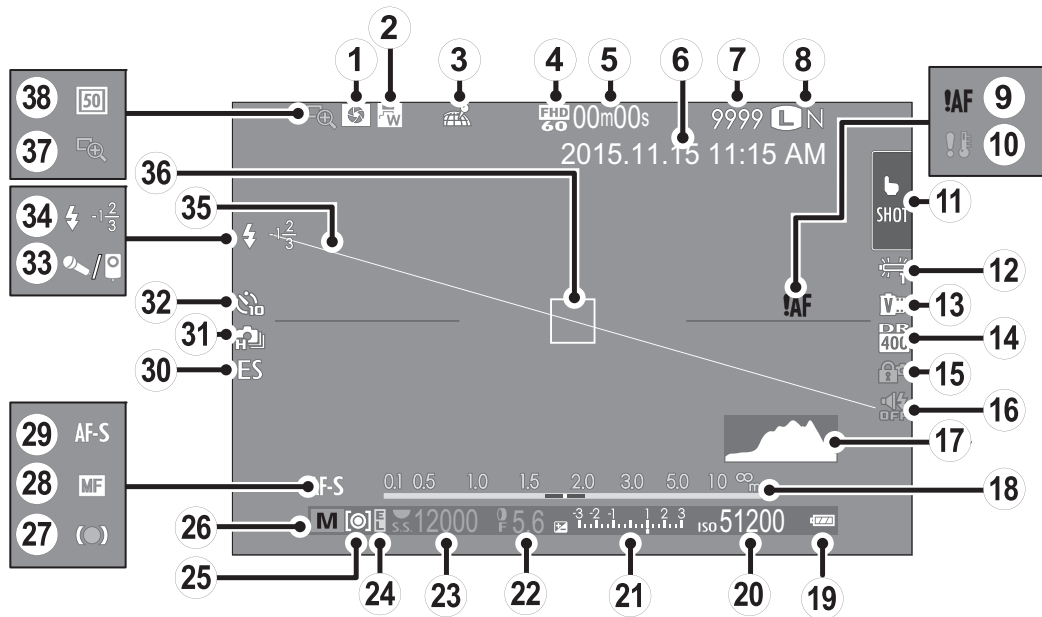
液晶モニターをチルトしているときは、指などを挟まないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。

画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。

静止画撮影時




- | | | |
|---------------------------|------------------------------------|---|
| ① 被写界深度確認..... 61 | ⑮ ボタンロック 12 | ⑳ 合焦マーク36、 83 |
| ② ワイドコンバージョンレンズ...148 | ⑯ 電子音 & フラッシュ.....120 | ㉑ マニュアルフォーカス..... 84 |
| ③ 位置情報取得状態.....125 | ⑰ ヒストグラム 34 | ㉒ フォーカスモード..... 82 |
| ④ 動画モード.....44、 110 | ⑱ 距離指標バー 85 | ㉓ シャッター方式.....111 |
| ⑤ 動画撮影の残り時間..... 44 | ⑲ バッテリー残量表示..... 28 | ㉔ 連写モード 74 |
| ⑥ 日付・時刻 29 | ㉚ ISO 感度.....68 | ㉕ セルフタイマー..... 53 |
| ⑦ 撮影可能枚数*167 | ㉛ 露出補正バー / 露出インジケータ
.....62、 70 | ㉖ マイク / リモートリリース設定
..... 45、 91、 110 |
| ⑧ 画像サイズ・画質モード.....105 | ㉜ 絞り値.....44、 59、 61、 62 | ㉗ フラッシュ / フラッシュ調光補正
.....54、 109 |
| ⑨ AF 警告..... 15、 158、 163 | ㉝ シャッタースピード
.....59、 60、 62 | ㉘ 電子水準器 34 |
| ⑩ 温度警告166 | ㉞ AE ロック 93 | ㉙ AF フレーム.....36、 93 |
| ⑪ タッチパネルモードアイコン ... 31 | ㉟ 測光モード..... 71 | ㉚ フォーカスチェック 85 |
| ⑫ ホワイトバランス..... 65 | ㊱ 撮影モード 58 | ㉛ デジタルテレコン..... 64 |
| ⑬ フィルムシミュレーション 81 | | |
| ⑭ ダイナミックレンジ.....106 | | |

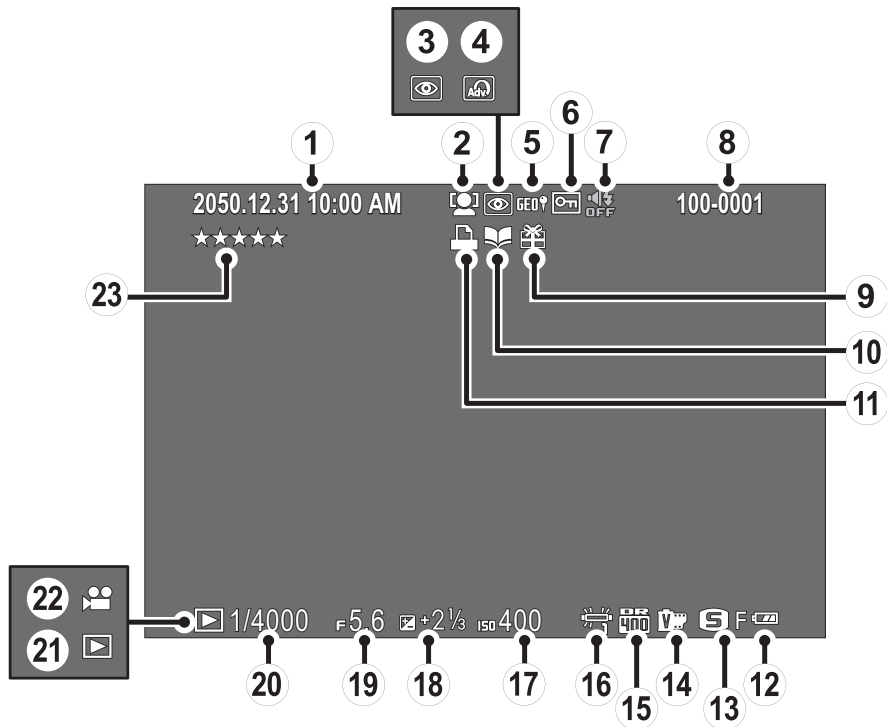
* 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

●● 撮影時のボタンロックについて



MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます (図 12)。

再生時

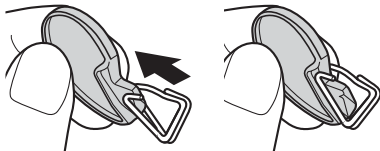


① 日付・時刻.....	29	⑨ プレゼント.....	37	⑰ ISO 感度.....	68
② 顔キレイナビ.....	104	⑩ フォトブックアシスト.....	100	⑱ 露出補正.....	70
③ 赤目補正.....	115	⑪ プリント予約.....	138	⑲ 絞り値.....	44、59、61、62
④ アドバンスフィルター.....	80	⑫ バッテリー残量表示.....	28	⑳ シャッタースピード.....	59、60、62
⑤ 位置情報.....	125	⑬ 画像サイズ・画質モード.....	105	㉑ 再生モード.....	37
⑥ プロテクト.....	114	⑭ フィルムシミュレーション.....	81	㉒ 動画アイコン.....	46
⑦ 電子音 & フラッシュ.....	120	⑮ ダイナミックレンジ.....	106	㉓ お気に入り.....	37
⑧ コマ NO.	124	⑯ ホワイトバランス.....	65		

ストラップを取り付ける

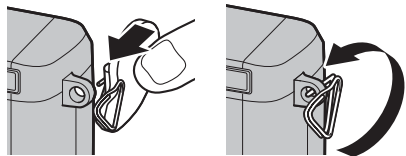
カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

- 1** ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップリングの切りこみを広げます。

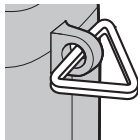


- ① ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。

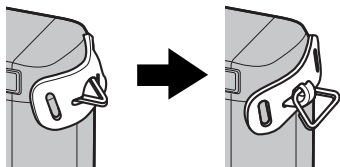
- 2** ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



- 3** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。

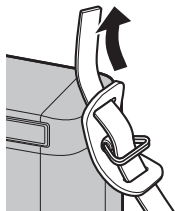


- 4** ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

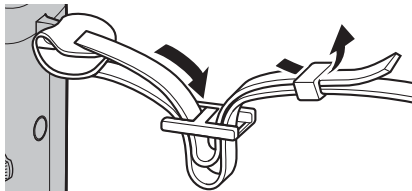


反対側も同様に、手順 1 ~ 4 を繰り返して取り付けます。

- 5** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。



- 6** ストラップを止め具に通します。



反対側も同様に、手順 5 ~ 6 を繰り返して取り付けます。

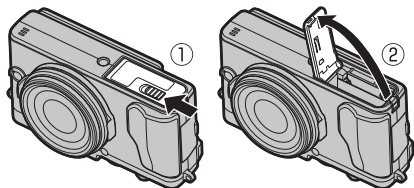
- ① ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーを入れます。撮影した画像は、市販のSD/SDHC/SDXCメモリーカードに記録します。

① このカメラには内蔵メモリーはありません。

1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

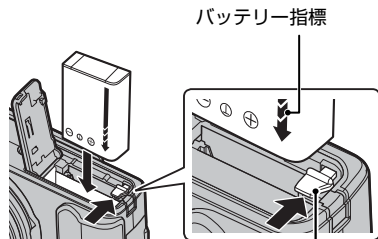


① カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

① バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

2 バッテリーを入れます。

- 図のように、金色の端子を下にして、指標（矢印）の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認してください。

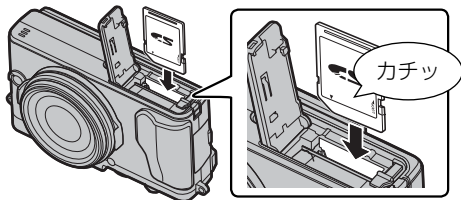


バッテリー取り外しつまみ

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- ① バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- ① バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

3 メモリーカードを入れます。

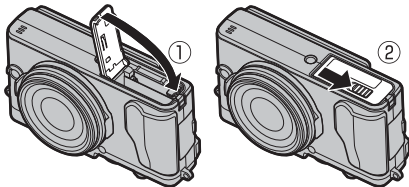
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



① メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

4 バッテリーカバーを閉めます。

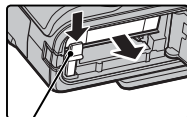
バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。



① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

●● バッテリーを取り出すときは

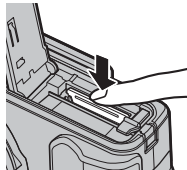
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



バッテリー取り外しつまみ

●● メモリーカードを取り出すときは

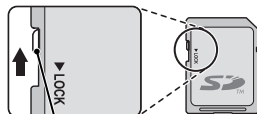
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。



① メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
 - 動画撮影や連写撮影をするときは、**CLASS10** 以上のメモリーカードをご使用ください。
 - 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。
- ① メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- ① メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



書き込み禁止スイッチ

- ① 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (126) してからご使用ください。
- ① メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ① 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- ① メモリーカードにラベルなどははらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- ① メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- ① カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

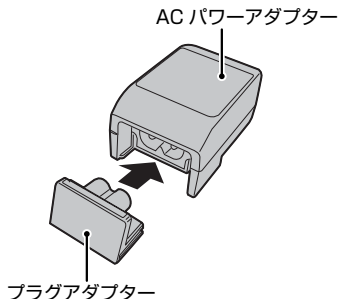
バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。

- お客様がお使いのバッテリーは NP-95 です。
- 充電時間については、📖 176 をご確認ください。

1 AC パワーアダプターにプラグアダプターを取り付けます。

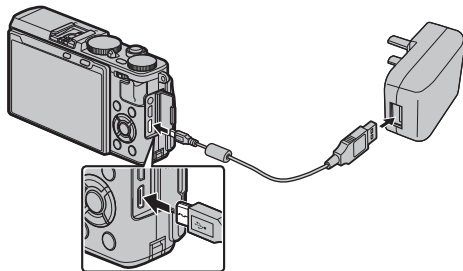
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、プラグアダプターを確実に奥まで差し込みます。



- ① 付属のプラグアダプターは、AC パワーアダプター AC-5VF 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。

2 バッテリーを充電します。



カメラと AC パワーアダプターを付属の USB ケーブルで接続します。AC パワーアダプターを屋内の電源コンセントに差し込みます。



- ① USB ケーブルは向きに注意して、端子の奥までしっかりと差し込んでください。

●● 充電状態の表示

カメラの電源をオンにしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはインジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

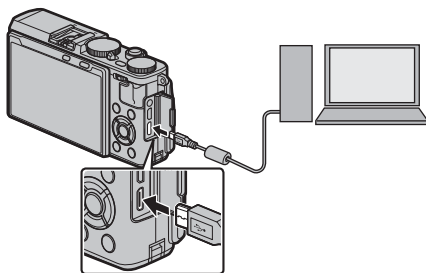
電源オン時のアイコン	電源オフ時のインジケータランプ	バッテリーの状態
 (黄点灯)	点灯	充電中
 (緑点灯)	消灯	充電完了
 (赤点灯)	点滅	バッテリー異常
アイコンなし	—	外部電源モードで動作中

◆ カメラにバッテリーを入れた状態で AC 電源を接続しカメラをオンにすると、外部電源モードで動作します。

- ① 撮影モードのときは充電できません。
- ① 同梱されている AC パワーアダプターは電源電圧 (100-240V)、電源周波数 (50/60Hz) の地域で使用できます。ただし、地域により電源コンセント形状が異なりますので必要に応じ、あらかじめ最適な変換プラグアダプターの安全性をお確かめの上用意ください。詳しくは旅行代理店などにご相談ください。
- ① 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ① バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ① バッテリーの端子同士を接触 (ショート) させないでください。発熱して危険です。
- ① バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- ① 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ① 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ① バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前 (1 ~ 2 日前) には、バッテリーを充電してください。
- ① 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ① AC パワーアダプターを使用しないときは、コンセントから AC パワーアダプターを抜いてください。
- ① 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ① 低温時および高温時は充電時間が長くなる場合があります。

● ● ● **パソコンに接続してバッテリーを充電する**

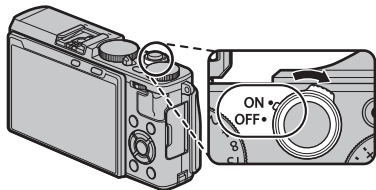
パソコンに接続して、バッテリーを充電することもできます。付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続してください。





- ① USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- ① 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- ① パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

電源をオンにする / オフにする

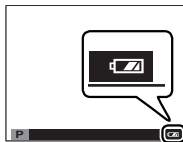
電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。








- ◆ 撮影中に  (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
- ◆ 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- ◆ 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。 **消費電力設定の自動電源 OFF** (p.123) では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンの半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。
- ◆ このカメラには起動時間を短縮する機能があります (p.123)。
- ① レンズに指紋が付かないようご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

●● バッテリー残量の表示

液晶モニターの表示で、バッテリー残量を確認できます。



表示	意味
 (白点灯)	バッテリーの残量は十分にあります。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約 2/3 です。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約 1/3 です。できるだけ早く充電してください。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。充電してください。
 (赤点滅)	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。



3 年月日の並び順を設定します。

▲▼で年月日の並び順を選びます。



4 年、月、日、時、分を設定します。

- ◀▶で設定する項目(年、月、日、時、分)を選択できます。
- ▲▼で設定する数字を変更できます。



5 MENU/OK ボタンを押します。

日時が設定され、ハイパフォーマンス設定画面が表示されます。



6 ハイパフォーマンス設定を選びます。

- ON：ピント合わせとカメラ再起動時の立ち上げが速くなります。
- OFF：電池寿命を優先します。



7 MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。





❖ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

● 設定のスキップ


DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

言語、日時を変更する

- 1 セットアップメニューから  言語/LANG、または  日時設定を選びます (📖 118)。
- 2 言語または日時を設定します。
 - 言語設定：▲▼で使用する言語を選びます。
 - 日時設定：◀▶で設定する項目(年、月、日、時、分)を選び、▲▼で設定する数字を選びます。
- 3 MENU/OK ボタンを押して、設定します。



ハイパフォーマンスの設定を変更する

- 1 セットアップメニューから  消費電力設定 > ハイパフォーマンスを選びます (📖 118)。
- 2 ▲▼でハイパフォーマンスの設定を選びます。
- 3 MENU/OK ボタンを押して、設定します。



撮影モードのタッチ操作について

このカメラでは、タッチ操作で静止画を撮影したり、フォーカスエリアを変更したりすることができます。撮影メニューの **タッチパネルモード** でタッチ操作を切り換えます。

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタップすることにより、**ショット**、**フォーカス**、**タッチパネルモードアイコン** エリア、**OFF** の順にタッチ操作を変更できます。

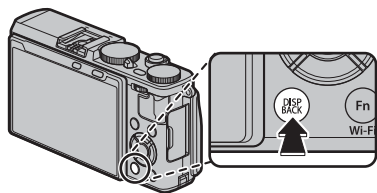


タッチパネルモード	意味	アイコン
ショット	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタップして撮影します。 ◆ AF オートフォーカス設定のリリース優先/フォーカス優先 (p.103) をフォーカスに設定しているときは、シャッターがきれるまで長押ししてください。 ◆ 連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。	
フォーカスエリア	ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。フォーカスエリアに設定したい場所をタップすると、タップした場所にフォーカスエリアが移動します。	
OFF	タッチ操作を使用しません。	

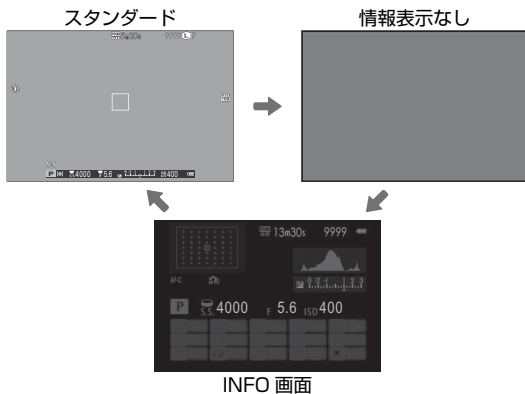
- ◆ セットアップメニューの **タッチパネル設定** が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り換えはできません。
- ◆ 再生モードのタッチ操作については、「タッチ操作による再生」(p.41) をご覧ください。

情報表示について

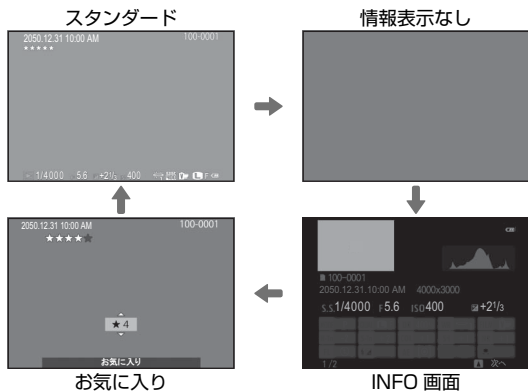
撮影モードまたは再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り換わります。



■ 撮影時



■ 再生時



■「スタンダード」画面のカスタマイズについて

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、 表示設定の画面のカスタマイズで選択できます。

1 「スタンダード」画面になるまで **DISP/BACK** ボタンを押します。

2 セットアップメニューから 表示設定の画面のカスタマイズを選びます。

3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目は、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- | | | | |
|-----------------|----------------------|----------------|-----------------|
| • フレーミングガイド | • 撮影モード | • シャッター方式 | • 撮影可能枚数 |
| • 電子水準器 (📖 34) | • 絞り / シャッター速度 / ISO | • フラッシュ | • 画像サイズ & 画質モード |
| • AF フレーム | • 情報表示背景 | • 連写モード | • 動画モード & 録画時間 |
| • AF 時の距離指標 | • 露出補正パー | • ホワイトバランス | • バッテリー残量表示 |
| • MF 時の距離指標 | • フォーカスモード | • フィルムシミュレーション | |
| • ヒストグラム (📖 34) | • 測光 | • ダイナミックレンジ | |

4 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。

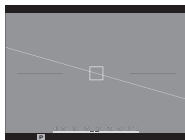
設定が保存されます。

5 **DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

◆ 表示される場所は 📖 16 をご覧ください。

● 電子水準器について

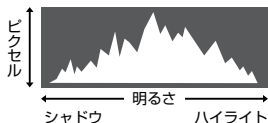
カメラの傾きを感じて表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。



❖ カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。

● ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。



適正露出の場合：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。



露出オーバーの場合：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。



露出アンダーの場合：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



① 被写体によってグラフ形状は異なります。

LCD 明るさ・LCD 鮮やかさ調整

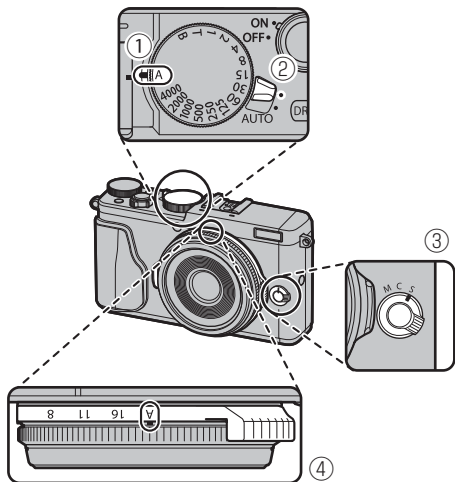
☑ 表示設定の LCD 明るさ、LCD 鮮やかさで液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整できます。

基本撮影 (静止画編) 静止画の撮影と再生

静止画を撮影する

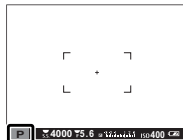
ここでは、プログラム (P) 撮影の基本的な流れを説明します。その他のモード (S、A、M、オートモード) の撮影方法は「撮影モードを変更したい」をご覧ください (p.58)。

1 カメラの設定をプログラム (P) 撮影の設定にします。



設定	設定	p.
① シャッタースピード	A (オート)	59
② オートモード切換レバー	●	13
③ フォーカスモード	S (シングル AF)	82
④ 絞り設定	A (オート)	59

表示画面に **P** が表示されます。



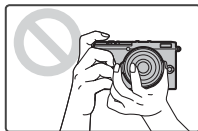
● Q ボタンについて

Q ボタンを押すと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます (p.47)。

静止画を撮影する

2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズやAF補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



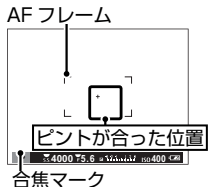
3 構図を決めます。

4 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。



ピントが合ったとき

- ピピッと音が鳴り、ピントが合った位置が緑色に点灯します。
- 合焦マークが緑色に点灯します。



ピントが合わないとき

- AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。
- 合焦マークが白色に点滅します。
- ◆ 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光 (104) が発光する場合があります。
- ◆ シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。
- ◆ レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

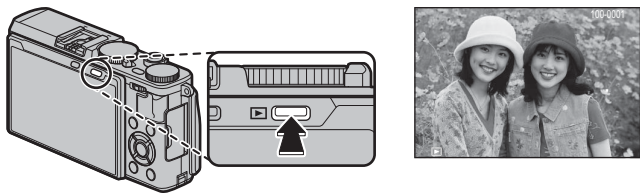
5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます (全押しします)。



静止画を再生する

1 コマ再生


▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。



◆ コントロールリングでも前後の画像を表示できます。

◆ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに （プレゼントアイコン）が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりすることがあります。

★ お気に入りを設定する

1コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、★ お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数（0～5）を設定します。

静止画を再生する

撮影時の情報確認

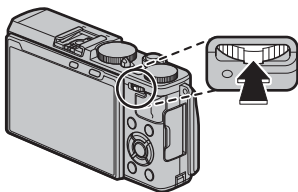
1 コマ再生時に撮影時の情報を確認できます。▲を押すごとに、表示が切り換わります。



◆ コントロールリングで INFO 画面のまま前後の画像に切り換えることができます。

ピントの位置を拡大表示する

コマンドレバーの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度押すと、1 コマ再生に戻ります。

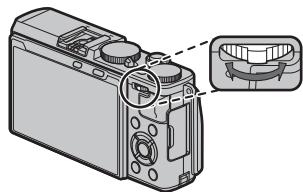


静止画を再生する

再生ズーム

1 コマ再生時にコマンドレバーを右に倒すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

◆ 1 コマ再生画面でコマンドレバーを左に倒すと、「マルチ再生」の9コマ画面になります（[図 40](#)）。



- ◆ 最大ズーム倍率は、設定した **画像サイズ**（[図 105](#)）によって変わります。
- ◆ **リサイズ**（[図 114](#)）または **トリミング**（[図 113](#)）の **640** で保存された画像は、再生ズームは使えません。

ナビゲーションについて



ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

拡大表示中に ▲▼◀▶ で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



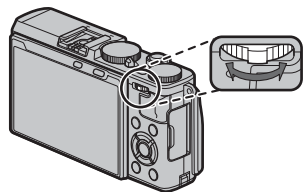
- ◆ コントロールリングで拡大画面のまま前後の画像に切り換えることができます。

静止画を再生する

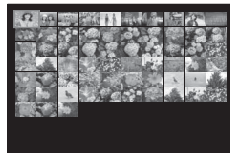
マルチ再生

1 コマ再生時にコマンドレバーを左に倒すと、9 コマ、100 コマ (マイクロサムネイル) の一覧を表示できます。

◆ 1 コマ再生画面でコマンドレバーを右に倒すと拡大画像が表示されます (見 39)。




コマンドレバーを左に倒すたびに
表示される画像が増えます。



コマンドレバーを右に倒すたびに
表示される画像が減ります。

- ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- ▲ または ▼ でページを切り換えることもできます。

タッチ操作による再生

セットアップメニューの  **タッチパネル設定** (頁 123) が **ON** のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

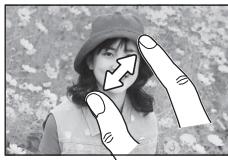
■ スワイプ

画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。



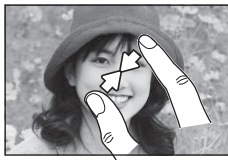
■ マルチタッチ（ピンチアウト）

画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。



■ マルチタッチ（ピンチイン）

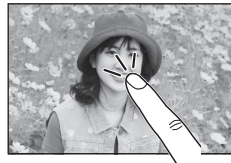
画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。



◆元の表示画像より縮小した画像は表示できません。

■ ダブルタップ

画面を2回タップすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。




■ ドラッグ

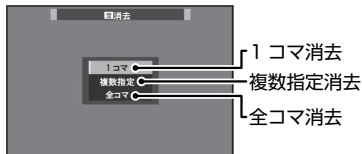
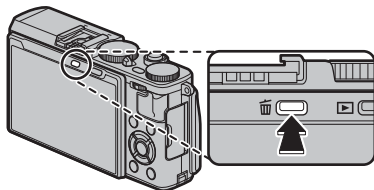
拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。




画像を消去する

画像を 1 コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。




1 コマ再生時に  ボタンを押して、消去方法を選びます。



- ◆ プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (p.114)。
- ◆ 再生メニューの  消去でも、画像を消去できます。

1 コマ消去

画像を 1 コマだけ消去します。

- 1 コマ再生中に  ボタンを押して、  1 コマを選びます。

- 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。



- ◆ MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようご注意ください。
- ◆ MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押してください。

複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

◆ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❶ が表示されます。



❶ 1コマ再生中に ⏮ ボタンを押して、🗑️ ボタンを押すと、複数指定を選びます。

❷ 消去する画像を選んで MENU/OK ボタンを押すと、選択されます。

- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。



❸ まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACK ボタンを押します。消去実行画面が表示されます。



❹ 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



全コマ消去

画像がすべて消去されます。

❶ 1コマ再生中に ⏮ ボタンを押して、🗑️ ボタンを押すと、全コマを選びます。

❷ 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。



◆ DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

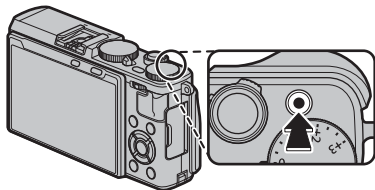
◆ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。MENU/OK ボタンを押すと、その画像を消去します。

基本撮影 (動画編) 動画の撮影と再生

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

- 1** 動画撮影ボタン (Fn1) を長押しすると、動画撮影が開始されます。



撮影中は、●が表示されます。



動画撮影の残り時間
(カウントダウン) が
表示されます。

- 2** もう一度動画撮影ボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ① 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。

- ◆ 撮影する動画の画像サイズ・フレームレートと感度の設定は、撮影メニューの **動画設定** で変更できます (p.110)。
- ◆ 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換レバーで設定します (p.82)。フォーカスモードを **S** にしても、**オートフォーカス設定の顔キレナビ** (p.104) が **ON** のときは、自動的にコンティニユアス AF になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔キレナビ** を **ON** にしても顔検出は行われません。

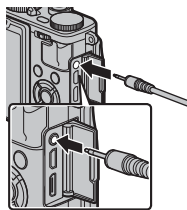
- ① 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は ± 2 の範囲となります。
- ① 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- ① 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- ① 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

● 背景ボケを生かした動画について


絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。絞り値の設定は動画撮影前に行ってください。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。




- ① 外部マイクのプラグはバスパワーを必要としないφ2.5 mmピンで取り付けるものをご使用ください。

- ◆ 詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。
- ◆ マイク/リモートリリース端子に外部マイクを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定**を  **マイク** に設定してください。

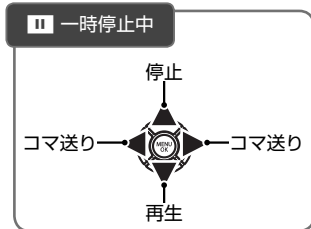
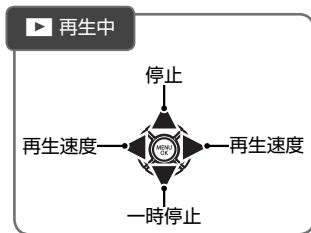
マイク/リモートリリースの
設定を確認してください
OK決定 **BACK**スキップ

動画を再生する

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。



動画再生時の操作方法について



動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲または▼を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定の再生音量** (p.120) でも設定できます。

- ① スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。
- ① **電子音&フラッシュがOFF** の場合 (p.120) は、音声も再生されません。

● 動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。

再生アイコン

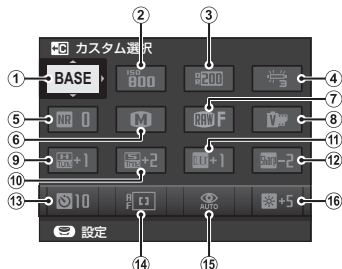


Q ボタン /Fn ボタン Q (クイックメニュー) ボタン

Q ボタンを使う

Q ボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。

画面について



メニュー項目	ページ
① カスタム選択	98
② ISO 感度	68
③ D-Rng ダイナミックレンジ	106
④ WB ホワイトバランス	65
⑤ NR ノイズリダクション	107
⑥ 画像サイズ	105
⑦ 画質モード	105
⑧ フィルムシミュレーション	81

メニュー項目	ページ
⑨ ハイライトトーン	107
⑩ シャドウトーン	107
⑪ Color カラー	106
⑫ Sharp シャープネス	107
⑬ セルフタイマー	53
⑭ AF モード	86
⑮ フラッシュモード	54
⑯ LCD 明るさ	121

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ換えることができます (📖 49)。

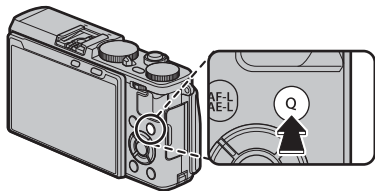
カスタム選択 (①) には、カスタム設定の読み込み状態が表示されます。

- ・ **BASE** : カスタム設定を読み込んでいないときに表示します。
- ・ **C1 ~ C7** : 撮影メニューの **カスタム登録 / 編集** で登録されたカスタム設定を表示します (📖 98)。

Q ボタンを使う

設定の確認と変更

- 1** 撮影画面で Q ボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。



- 2** 設定を変更するメニュー項目を
▲▼◀▶で、選びます。



- 3** コマンドレバーで設定値を選びます。

◆各設定内容を変更して読み込めますが、
カスタム登録設定内容は変更できません
(P.49)。



- 4** Q ボタンを押します。

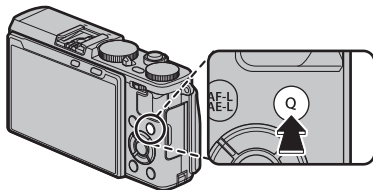
表示されている設定値になり、撮影画面
に戻ります。



クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

- 1** 撮影画面で Q ボタンを長押しします。
クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



- 2** ▲▼◀▶ で割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

メニューの割り当て設定画面が表示されます。割り当てられるメニューは次のとおりです。

- カスタム選択
- 感度
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ノイズリダクション
- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルムシミュレーション
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- セルフタイマー
- 顔キレナビ
- 測光
- AF モード
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- MF アシスト
- 動画モード
- 動画感度
- マイクレベル設定
- 電子音 & フラッシュ
- LCD 明るさ
- LCD 鮮やかさ
- ワイドコンバージョンレンズ
- シャッター方式
- なし

◆ なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

◆ カスタム選択を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

- 3** 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

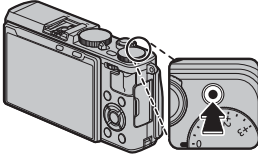
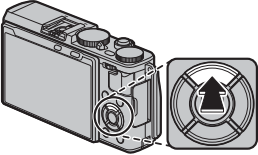
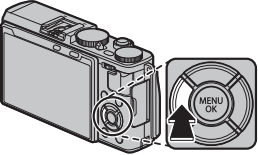
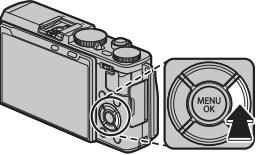
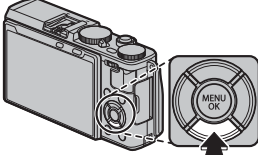
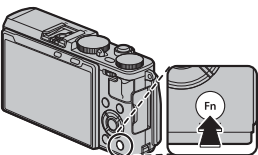
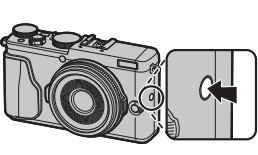
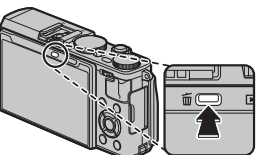
クイックメニューにメニューが割り当てられます。

◆ クイックメニューの割り当ては、セットアップメニューの **操作ボタン / ダイヤル設定** から設定できます (122)。

Q ボタン /Fn ボタン Fn (ファンクション) ボタン

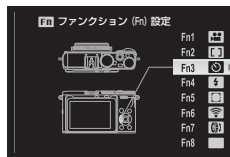
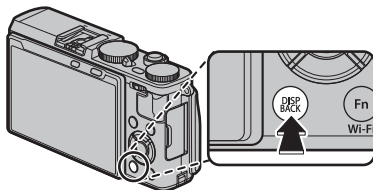
ファンクションボタンを使う

ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り換えたり、設定画面を呼び出したりできます。工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は以下のとおりです。

Fn1 ボタン	Fn2 ボタン	Fn3 ボタン	Fn4 ボタン
			
動画撮影 (44、52)	AF モード (52、86)	セルフタイマー (53)	フラッシュモード (54)
Fn5 ボタン	Fn6 ボタン	Fn7 ボタン	Fn8 ボタン
			
フォーカスエリア選択 (56、87)	ワイヤレス通信 (56、129)	コントロールリング設定 (57)	なし

ファンクションボタンの割り当て変更

DISP/BACK ボタンを長押しすると、ファンクションボタンの割り当て設定画面を表示できます。▲▼で、割り当てを変更するファンクションボタンを選んで、割り当てる機能を変更してください。



割り当てられる機能は次のとおりです。

- 被写界深度確認 (📖 61)
- 感度 (📖 68)
- セルフタイマー (📖 53)
- 画像サイズ (📖 105)
- 画質モード (📖 105)
- ダイナミックレンジ (📖 106)
- フィルムシミュレーション (📖 81)
- ホワイトバランス (📖 65)
- 測光 (📖 71)
- AF モード (📖 86)
- フォーカスエリア選択 (📖 87)
- フラッシュモード (📖 54)
- フラッシュ調光補正 (📖 109)
- カスタム選択 (📖 98)
- 動画 (📖 44)
- 顔キレナビ (📖 104)
- RAW (📖 95)
- ワイヤレス通信 (📖 129)
- ワイドコンバージョンレンズ (📖 148)
- シャッター方式 (📖 111)
- マニュアル時モニター露出反映 (📖 121)
- モニター撮影効果反映 (📖 121)
- コントロールリング設定 (📖 57)
- なし

❖ なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

❖ ファンクションボタンの割り当ては、セットアップメニューの **📷 操作ボタン / ダイヤル設定** からでも設定できます (📖 122)。

🔴 ファンクションボタン長押し

それぞれのファンクションボタンを長押しすると、それぞれのボタンの割り当て設定画面を表示できます。

🔴 Fn1 ボタンについて

露出補正ダイヤル操作時に **Fn1** ボタンの誤操作を防止するため、**Fn1** ボタンは長く押すことで割り当てられた機能が動作します (工場出荷時設定では、動画撮影が開始されます)。**Fn1** ボタンは、長押しによる割り当て設定画面の表示機能はありません。割り当ての変更は、**DISP/BACK** ボタン長押し、またはセットアップメニューの **📷 操作ボタン / ダイヤル設定** から行ってください。

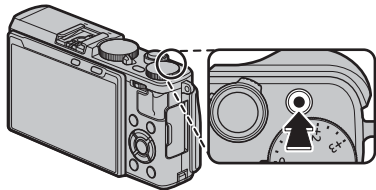
ファンクションボタンに割り当てられている機能

工場出荷値の設定では、それぞれのファンクションボタン (Fn1 ~ Fn7) に以下の機能が割り当てられています。

◆ 工場出荷値設定では、Fn8 の割り当てはなしになっております。

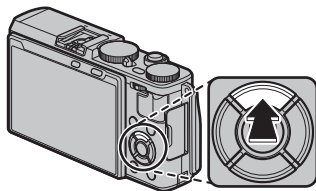
動画 (Fn1)

ファンクションボタン (Fn1) を長押しすると、動画撮影が開始されます (84)。



AFモード (Fn2)

ファンクション (Fn2) ボタンを押すと、フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します (86)。

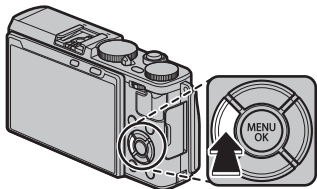


◆ AF モードは撮影メニューの **AF** オートフォーカス設定からも設定できます (103)。

セルフタイマー (Fn3)

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2秒後撮影」の2種類のセルフタイマーを搭載しています。セルフタイマーは、すべての撮影モードで使えます。

- 1** ファンクション (Fn3) ボタンを押します。
セルフタイマーの設定画面が表示されます。



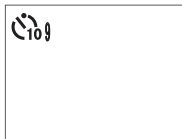
- 3** ▲▼でセルフタイマーを選びます。

☉ : 2秒後撮影
 ☉ : 10秒後撮影
 OFF : セルフタイマー OFF

- 4** MENU/OKを押します。
セルフタイマーが設定されます。

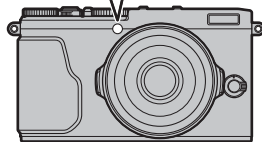
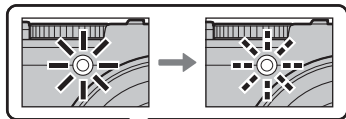
- ☉ ☉ セルフタイマーは、撮影メニューからも選べます (106)。

シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。画面には、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。



タイマーを途中で止めるには、DISP/BACK ボタンを押します。

- ① シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。
- ① セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。
- ☉ (10秒後撮影) では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。☉ (2秒後撮影) では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

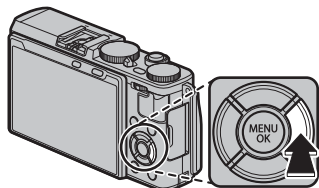


ファンクションボタンに割り当てられている機能






フラッシュモード (Fn4)

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

- 1** ファンクション (Fn4) ボタンを押します。
フラッシュモードの設定画面が表示されます。



- 2** 使用するフラッシュモードを選びます。




フラッシュ	説明
AUTO オート	カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
 強制発光	周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
 スローシンクロ	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
 コマンダー	スレーブ対応の外部フラッシュを同調させます。
 外部フラッシュ	富士フィルム製以外の外部フラッシュを使用するときに設定します。
 発光禁止	フラッシュは発光しません。被写体が暗いときでも、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。


- 3** MENU/OK ボタンを押します。
フラッシュモードが設定されます。

- ◆ フラッシュモードは、撮影メニューの **4** フラッシュ設定からも選べます (P109)。
- ◆ フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に **4** が表示されます。
- ◆ フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します (コマンダーモードを除く)。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- ◆ 別売のレンズフード装着時はケラレが起こることがあるためフラッシュ撮影はおすすめできません。

ファンクションボタンに割り当てられている機能

●顔キレイナビと赤目補正がオンのときのフラッシュ設定について

顔キレイナビ (p.104) と赤目補正 (p.109) をオンにした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、 (赤目軽減オートフラッシュ)、 (赤目軽減 + 強制発光フラッシュ)、 (赤目軽減 + スローシンクロ) から設定できます。

 (赤目軽減オートフラッシュ) は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。



●フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $\frac{1}{2000}$ 秒以下です。

●別売フラッシュについて

このカメラでは、別売の富士フィルム製クリップオンフラッシュも使用できます (p.144)。

●他社製のフラッシュをお使いになる時のご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

●各撮影モードで使用できるフラッシュモード

		P	S	A	M																										
フラッシュモード	AUTO	✓				✓	✓			✓	✓	✓		✓							✓	✓	✓	✓							✓
		✓	✓		✓	✓	✓			✓	✓	✓		✓							✓	✓	✓	✓							✓
		✓		✓		✓	✓																								✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓		✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

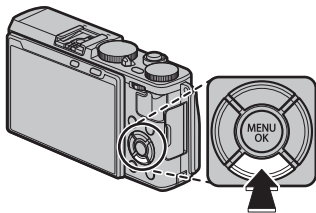
*ワイヤレス通信のリモート撮影

◆詳しくは、「各撮影モードで使用できる機能について」(p.168) をご覧ください。

ファンクションボタンに割り当てられている機能

フォーカスエリア選択 (Fn5)

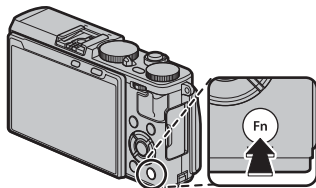
ファンクション (Fn5) ボタンを押すと、フォーカスモードが **S** または **C** のときのピント合わせのエリアを変更できます。AF モードの設定によって、操作が異なります (87)。



- ◆ フォーカスエリア選択は撮影メニューの **AF** オートフォーカス設定からも設定できます (103)。

ワイヤレス通信 (Fn6)

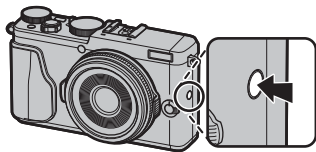
ファンクションボタン (Fn6) を押すと、撮影モードでスマートフォンとワイヤレス通信できます (129)。スマートフォンを操作して撮影するときや位置情報を受信するときに便利です。



- ◆ **ワイヤレス通信**は、撮影 / 再生メニューからも選べます (110、113)。

コントロールリング設定 (Fn7)

ファンクション (Fn7) ボタンを押すと、コントロールリングに割り当てる機能を設定できます。



割り当てられる機能は以下の通りです。

- スタANDARD
 - 感度 (p.68)
 - ホワイトバランス (p.65)
 - フィルムシミュレーション (p.81)
 - デジタルテレコン (p.64)
- ◆ **コントロールリング設定**は撮影メニューからも設定できます (p.108)。

■ スタANDARDについて

スタンダードを割り当てると、カメラがモードに応じた機能を自動で割り当てます。

		オートモード切換レバー	
		AUTO	●
撮影モード	P	-	デジタルテレコン
	S		
	A		
	M		
		フィルムシミュレーション	
		フィルムシミュレーション	
		フィルター選択	
	AUTO 撮影	シーン選択	-

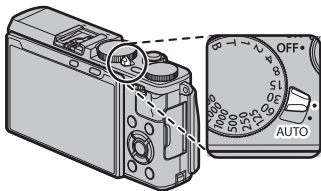
- ◆ フォーカスモード切り換えレバーがM (マニュアルフォーカス) の位置のときは、割り当てられている設定にかかわらず、手動でピント合わせをする機能 (MF) になります。ただし、**AUTO 撮影**の 、、 のときは、M時も割り当てられた機能で動作します。

応用撮影 いろいろな撮影と再生

撮影モードを変更したい

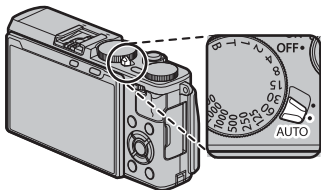
■ P、S、A、Mモード

P、S、A、Mモードで撮影したいときは、オートモード切換レバーを ● の位置にしてください。



■ オートモード

カメラが最適な状態に自動的に設定するオートモード撮影で撮影したいときは、オートモード切換レバーを **AUTO** の位置にしてください。



オートモードでは、画面に **AUTO** が表示されます。

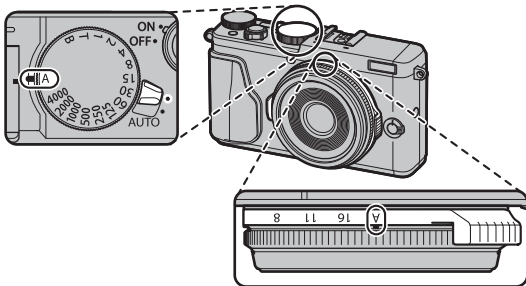


● オートモードのシーン選択について

オートモードのシーンは、コントロールリングを回すか、撮影メニューの **シーン選択** (103) で選びます。また、ドライブモードによっては、選べないシーンがあります (73)。

プログラム (P)

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。プログラムで撮影するには、オートモード切換レバーを ● の位置にして (図 58)、絞り設定を **A**、シャッタースピードダイヤルを **A** に設定します。



表示画面に **P** が表示されます。



① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

● プログラムシフトの設定

コマンドレバーで、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



- ◆ プログラムシフトが設定されているときは、シャッタースピードと絞り値が黄色で表示されます。
- ◆ 電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

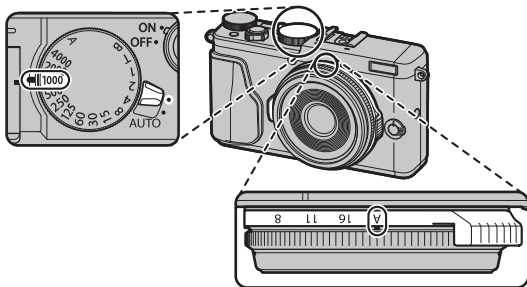
① 次のとき、プログラムシフトは使用できません。

- フラッシュ設定が発光禁止以外のとき
- 撮影メニューの **D-Range** ダイナミックレンジが **AUTO** のとき (図 106)

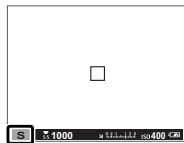
撮影モードを変更したい

シャッタースピード優先 (S)

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。シャッタースピード優先で撮影するには、オートモード切換レバーを ● の位置にして (58)、絞り設定を **A**、シャッタースピードダイヤルを撮影したいシャッタースピードに設定します。



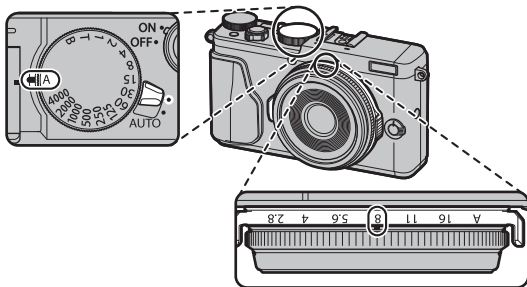
表示画面に **S** が表示されます。



- ◆ コマンドレバーでシャッタースピードを 1/3 段刻みで微調整できます。
 - ◆ シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。
- ① 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
 - ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「—」と表示されます。

絞り優先 (A)

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。絞り優先で撮影するには、オートモード切換レバーを ● の位置にして (図 58)、シャッタースピードダイヤルを **A** に、絞りを撮影したい絞り値に設定します。



表示画面に **A** が表示されます。

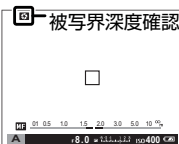


◆ シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

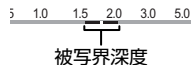
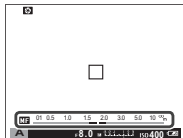
- ① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。

● 被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに **Fn** 被写界深度確認を割り当てます (図 51)。割り当てたファンクションボタンを押すと、そのときの絞り値の被写界深度が確認できます。



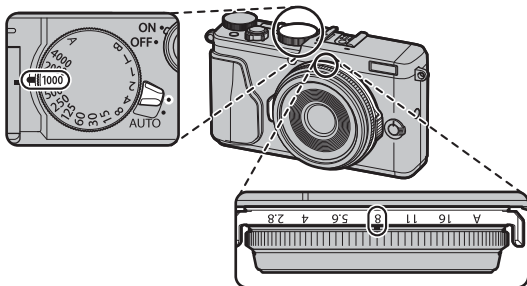
◆ 「スタンダード」表示になるまで **DISP/BACK** ボタンを押すと、距離指標バーで被写界深度を確認できます。



撮影モードを変更したい

マニュアル (M)

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、オートモード切換レバーを ● の位置にして (目 58)、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。絞りを設定したい絞り値に、シャッタースピードを撮影したいシャッタースピードに設定します。



表示画面に **M** が表示されます。



◆ コマンドレバーで、シャッタースピードを $\frac{1}{4}$ 段刻みで微調整できます。

● 露出設定プレビューについて

☑ 表示設定のマニュアル時モニター露出反映が ON のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

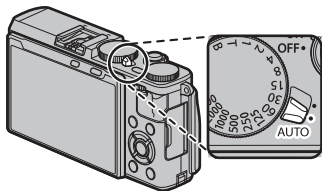


◆ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、マニュアル時モニター露出反映を OFF にしてください。

オートモード撮影

オートモードで撮影するには、オートモード切換レバーを**AUTO**の位置にして(図58)、コントロールリングでシーンを選びます。

◆ 撮影メニューの シーン選択からもシーンが選べます。



シーン	機能
SR+ アドバンスド SR オート	シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。
人物	人物の撮影に適しています。
美肌	肌をなめらかに撮影します。
風景	屋間の風景撮影に適しています。
スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
ビーチ	日差しが強い浜辺での撮影に適しています。

水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
花	花を色鮮やかに撮影します。
文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに表示します。

■ SR+ (アドバンスド SR オート)

SR+ アドバンスド SR オートを選ぶとカメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。



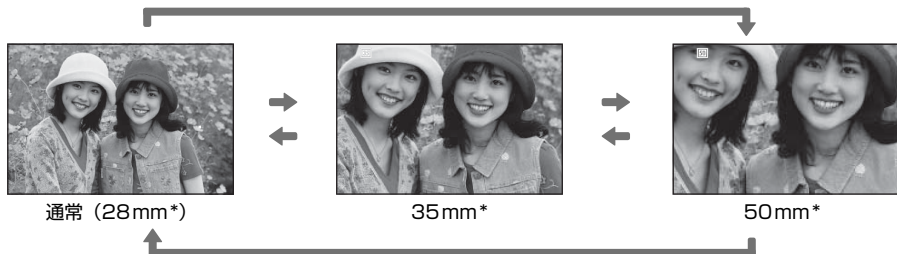
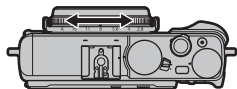
- : AUTO
- : 風景
- : 夜景
- : マクロ
- : ビーチ
- : 夕焼け
- : スノー
- : 青空
- : 緑
- : 青空 & 緑
- : 人物
- : 逆光 & 人物
- : 動物体
- : 人物 & 動き
- : 逆光人物 & 動き

① シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、適切なシーンを選んでください。

デジタルテレコンを使って撮影したい

デジタルテレコンを使うと、異なる焦点距離の拡大画像をデジタル超解像処理によって撮影できます。

- 1 コントロールリングの設定をデジタルテレコンに割り当てます (図 57)。
- 2 コントロールリングで、拡大倍率を選びます。
コントロールリングを回すと、画面の中央を中心に画面が拡大表示されます。



- 3 撮影します。
拡大表示された状態が撮影されます。
- ◆ デジタルテレコンは撮影メニューからも設定できます (図 111)。
 - ① デジタルテレコン (35mm / 50mm) を使うと、画質が劣化する場合があります。
 - ① 撮影モードによっては、デジタルテレコンが解除されたり、選択できない場合があります。

ホワイトバランスを変更したい

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ で WB ホワイトバランスを選び、MENU/OK ボタンを押します。
ホワイトバランスの設定画面が表示されます。



- 3** ▲▼ でホワイトバランスを選びます。



- MENU/OK ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。
▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。
- DISP/BACK ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。



■ ホワイトバランスの設定

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します (P.66)。
K	色温度を設定します (P.67)。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

- ◆ 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- ◆ フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください (P.54)。


ホワイトバランスを変更したい

■ カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

メモ：カスタムホワイトバランスの活用例

白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面から  を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。



◆ MENU/OK ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。



3 シャッターボタンを全押しして設定します。

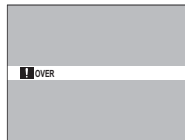



◆ 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。



「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。



「OVER」と表示されたときは-（マイナス）側に、「UNDER」と表示されたときは+（プラス）側に露出補正（ 70）してから、再度測定してください。

■ K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

📖 メモ：色温度の活用例

色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



- 2 ▲▼ で色温度を選び、MENU/OK ボタンを押します。WB シフト画面が表示されます。



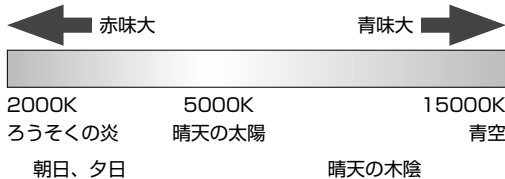
◆ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** ボタンを押してください。

- 3 ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

- 4 MENU/OK ボタンを押します。色温度が設定されます。

●● 色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



ISO 感度を変更したい

光に対する ISO 感度を **100** ～ **51200** の間で変更できます。

1 MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



2 ▲▼ で ISO 感度を選び、MENU/OK ボタンを押します。
感度の設定画面が表示されます。



3 ▲▼ で設定値を選び、MENU/OK ボタンを押します。

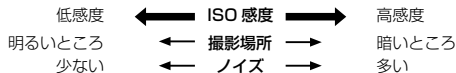


設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます (図 69)。
6400 ～ 200	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H(51200) H(25600) H(12800) L(100)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

- ◆ 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- ◆ 拡張感度を選択できる条件は、「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください (図 168)。
- ◆ 拡張感度 (L(100)) のときに、画質モード (図 105) を **RAW**、**FINE+RAW**、**NORMAL+RAW** に設定すると、感度は自動的に **200** になります。
- ◆ 拡張感度 (H(12800)、H(25600)、H(51200)) のときに、画質モード (図 105) を **RAW**、**FINE+RAW**、**NORMAL+RAW** に設定すると、感度は自動的に **6400** になります。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいくほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。



■ AUTO 設定について

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、それぞれ以下の項目が設定できます。

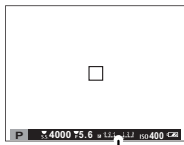
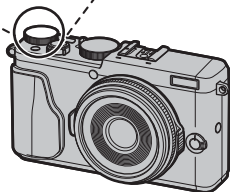
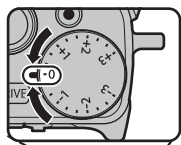
設定	工場出荷値
基準 ISO 感度	200
上限 ISO 感度	800 (AUTO1)、1600 (AUTO2)、3200 (AUTO3)
低速シャッター限界	1/60

基準 ISO 感度と上限 ISO 感度を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、低速シャッター限界では、ISO 感度が自動で切り換わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

- ◆ 上限 ISO 感度よりも基準 ISO 感度を高く設定している場合は、上限 ISO 感度で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- ◆ 基準 ISO 感度と上限 ISO 感度の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

露出を補正したい

画像の明るさを調整できます。露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。



露出補正バー

+補正

(暗い画像を明るくします)



-補正

(明るい画像を暗くします)



● 露出補正の目安

・逆光の人物撮影：
+ $\frac{2}{3}$ EV ~ +1 $\frac{1}{2}$ EV



・スキー場などの反射が強く明るい場所：+1EV



・画像の大部分を空が占める場合：+1EV

・スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：
- $\frac{2}{3}$ EV

・常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：- $\frac{2}{3}$ EV

● EV とは

露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや画像素子などのISO感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより画像素子に与える光量を一定にしています。画像素子に与えられる光量が2倍になるとEV値は+1、半分になるとEV値は-1変化します。


① モードによって補正段数が制限されることがあります。

明るさの測定方法を変更したい（測光モード）

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できません。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。








- 2** ▲▼ で  測光を選び、MENU/OK ボタンを押します。
測光モードの設定画面が表示されます。



- 3** ▲▼ で設定値を選び、MENU/OK ボタンを押します。

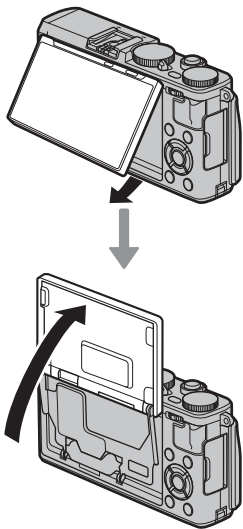


- ① 測光モードを変更するときは、 オートフォーカス設定の顔キレナビ (📖 104) を OFF にしてください。

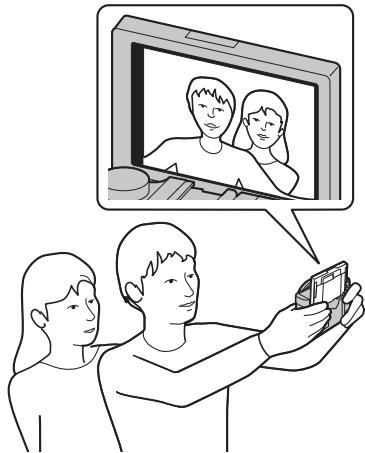
設定	説明
 (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  (マルチ) をおすすめします。
 (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

自分撮りをしたい（セルフイー）

自分撮りをするとき、液晶モニターを下図のように回転させます。

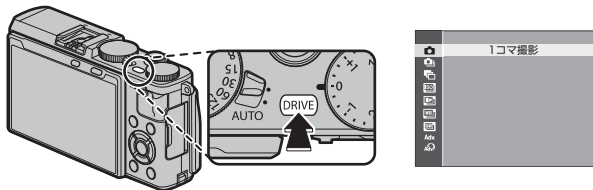


- ◆ 液晶モニターを回転すると、自動的に 顔キレイナビが ON になり（[104](#)）、 瞳 AF が AUTO になります（[104](#)）。
- ◆ AUTO 撮影の のとき（[63](#)）と、フォーカスモードが M のとき（[82](#)）は、 顔キレイナビが ON になりません。
- ◆ 液晶モニターを回転させると、画像が鏡像表示になります。自分撮りをするとき鏡を見るようなイメージで撮影できます。



いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブボタン）

ドライブボタンを押すと、いろいろな仕上がりの画像が撮影できるモードを選べます。



ドライブモード		使用できる撮影モード
📷 1コマ撮影	—	全モード
📷 連写	74	
📷 AE ブラケティング	75	P、S、A、M
ISO ISO ブラケティング		
📷 フィルムシミュレーション BKT		
📷 ホワイトバランス BKT		
📷 ダイナミックレンジ BKT		
Adv. モード		全モード
📷 ぐるっとパノラマ	77	
📷 多重露出	79	
📷 アドバンスフィルター	80	

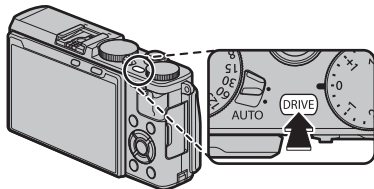
※ただし、オートモード切替レバーが **AUTO** の位置になっているときは、オート設定での撮影になります。

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブボタン）

📷 連写

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1** ドライブボタンを押します。
ドライブモード設定画面が表示されます。



- 2** ▲▼ で連写を選びます。
- 3** ◀▶ で連写速度を選びます。
- 4** MENU/OK ボタンを押します。
撮影画面になります。
- 5** 撮影します。
シャッターボタンを押し続けている間、連写速度に応じたコマ数で連続撮影します。

- ① 連写枚数が増えるとカメラ内部の温度が上昇し保護機能が働いて電源がオフになることがあります。このようなときは、カメラの温度が下がるまでしばらく待ってから再び電源をオンにしてください。
- ① 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます（📖 124）。
- ① 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- ① 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- ① シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- ① フラッシュは使用できません。ただし、通常に撮影すると、連写前に使用していたフラッシュ設定に戻ります。
- ① 連続撮影では、撮影したファイルを記録する時間が長くなることがあります。

🔴 ● ピントや露出について

ピントや露出を自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。

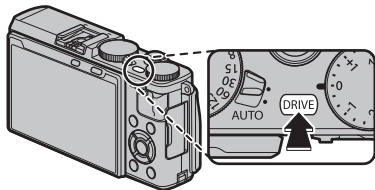
- ① その他の設定で連写撮影すると、ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- ① 高速連写 (📷) でフォーカスモードが **C** のときは、選択できるフォーカスエリアが異なります（📖 89）。
- ① 絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、ピントや露出の自動調整が有効にならない場合があります。

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブボタン）

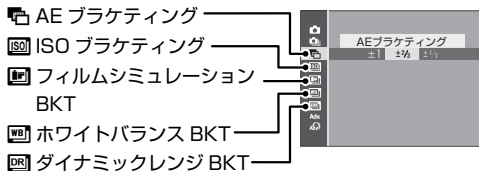
ブラケティング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。

- 1** ドライブボタンを押します。
ドライブモード設定画面が表示されます。




- 2** ▲▼ で使用したいブラケティングの種類を選びます。




- 3** 設定値を選べるブラケティング（AE/ISO/ ホワイトバランス）の場合、◀▶ で設定を選びます。
設定値がない場合、手順 4 に進みます。
- 4** MENU/OK ボタンを押します。
撮影画面になります。
- 5** 撮影します。

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブボタン）

AEブラケットング


一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出： 70）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。


- 露出を変える範囲は、**AEブラケットング**を選んでから  で選びます。

設定	説明
±1	露出を1EVずつ変更しながら撮影します。
±%	露出を%EVずつ変更しながら撮影します。
±1/3	露出を1/3EVずつ変更しながら撮影します。

- アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えると、設定した設定値きざみで撮影されません。


ISOブラケットング

撮影した1枚の画像から、ISO感度（ 68）を変化させて3枚の画像を作成します。ISO感度の変化する段階は、設定感度ISO200～6400までの間で1/3段ずつステップ幅を変更できます。

- ISO感度の変化する段階は、**ISOブラケットング**を選んでから  で選びます。


設定	説明
±1	ステップを1段に設定します。
±%	ステップを%段に設定します。
±1/3	ステップを1/3段に設定します。


フィルムシミュレーションブラケットング

撮影した1枚の画像から、フィルムシミュレーション（ 81）の設定をそれぞれ選んだ設定に変化させて3枚の画像を作成します。

- 変化させるフィルムシミュレーションのそれぞれの設定は、撮影メニューの**フィルムシミュレーションBKT**で変更します。


ホワイトバランスブラケットング

一度シャッターボタンを押すと、選んだホワイトバランス（ 65）の色温度を、設定したステップずつ変化させて3枚の画像を作成します。

- ステップ幅を変える範囲は、**ホワイトバランスBKT**を選んでから  で選びます。

設定	説明
±3	3ステップずつ変化させます。
±2	2ステップずつ変化させます。
±1	1ステップずつ変化させます。

ダイナミックレンジブラケットング

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジ（ 106）の設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

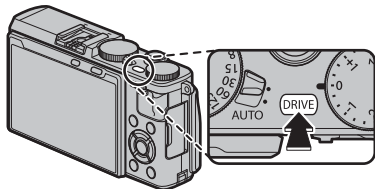
- 感度は自動的にISO800以上になります。ダイナミックレンジブラケットングを解除すると、感度は元の設定に戻ります。

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブボタン）

ぐるっとパノラマモード撮影

カメラを動かして撮影した複数の画像を合成し、高画質な 1 枚のパノラマ写真を作成します。

- 1** ドライブボタンを押します。
ドライブモード設定画面が表示されます。



- 2** ▲▼ で Adv. を選んでから □ (ぐるっとパノラマ) を選び、MENU/OK ボタンを押します。
撮影画面になります。
- 3** 撮影する角度（撮影画角）を選びます。
◀ で撮影画角変更画面を選択できます。撮影する画角の大きさを選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 4** 撮影方向を選びます。
▶ で撮影方向を選択できます。撮影する方向を選び、MENU/OK ボタンを押します。

- 5** シャッターボタンを全押しします。
撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。



- 6** 矢印方向にカメラを動かします。



ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

- ◆ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブボタン）

● うまく撮影するには

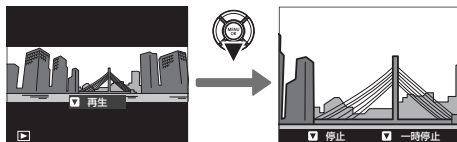
- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。

- ① 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- ① 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- ① 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- ① カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- ① 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- ① 以下の場合はぐるっとパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様に変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- ① 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。

パノラマ画像の再生

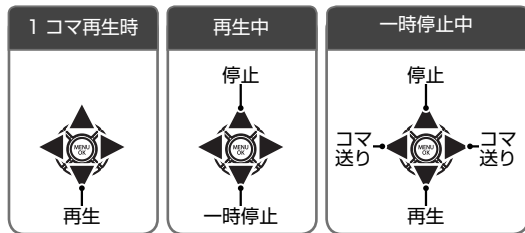
1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。

横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



- ◆ パノラマ写真を 1 コマ再生しているときは、コマンドレバーで拡大 / 縮小表示できます。

■ パノラマ再生時の操作方法について



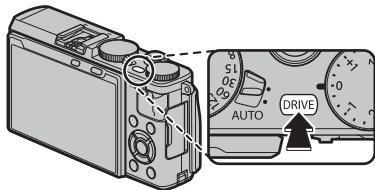

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブボタン）

多重露出撮影

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。

**1** ドライブボタンを押します。

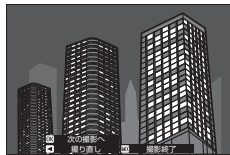
ドライブモード設定画面が表示されます。

**2** ▲▼で Adv. を選んでから （多重露出）を選び、MENU/OK ボタンを押します。

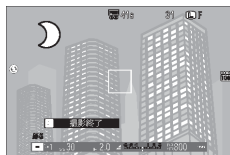
撮影画面になります。

3 1枚目の画像を撮影します。**4** MENU/OK ボタンを押します。

2枚目の撮影画面が表示されます。



- ◆ 1枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。
- ◆ DISP/BACK ボタンを押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

5 2枚目の画像を撮影します。

- ◆ 1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。

6 MENU/OK ボタンを押します。

2枚の画像を合成した画像が保存されます。



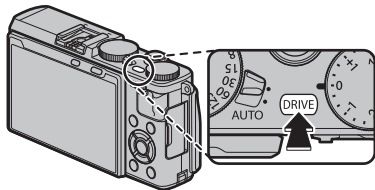
- ◆ 2枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブボタン）

Adv アドバンスフィルター

さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

- 1 ドライブボタンを押します。
ドライブモード設定画面が表示されます。



- 2 ▲▼でアドバンスフィルターを選び、MENU/OKボタンを押します。
- 3 使用したいアドバンスフィルターを選びます。
- 4 MENU/OKボタンを押します。
撮影画面になります。
- 5 撮影します。

■ アドバンスフィルターの効果

以下のフィルター効果を選べます。

アドバンスフィルター	効果
トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
ハイキー	全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。
ローキー	全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部を強調します。
ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。
パートカラー (レッド)	特定の色域（カッコ内の色）だけを残し、残りをモノクロにします。
パートカラー (オレンジ)	
パートカラー (イエロー)	
パートカラー (グリーン)	
パートカラー (ブルー)	
パートカラー (パープル)	


- ◆ 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならない場合があります。

フィルムシミュレーションを使って撮影したい

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。



- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。








- 2**  フィルムシミュレーションを選び、MENU/OK ボタンを押します。
フィルムシミュレーションの設定画面が表示されます。



- 3** フィルムシミュレーションの設定値を選びます。

設定	説明
 PROVIA/ スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシック クローム	発色をおさえて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしてあります。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適したモードです。

設定	説明
 モノクロ (フィルターなし)	モノトーン表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
 モノクロ + Ye フィルター	被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が少し濃くなります。
 モノクロ + R フィルター	被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃くなります。
 モノクロ + G フィルター	唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。
 セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。

- 4** MENU/OK ボタンを押します。
フィルムシミュレーションが設定されます。

◆ フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です (P.107)。

■ 合焦マークについて

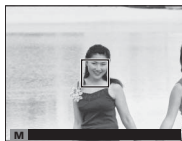
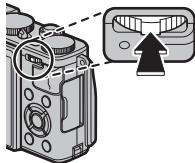
合焦マークでピントの状況を確認できます。



合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	Sのときに、ピントが合って固定されています。
● (緑点灯)	Cのときに、ピントが合っています。 ▼ 被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。

▼ フォーカスモードが **M** のときは、**MF** が表示されます。

●● 拡大表示してピントを確認する
コマンドレバーの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度コマンドレバーの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます (P.56)。



通常表示



拡大表示

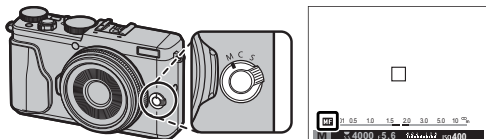
- ▼ フォーカスモードが **M** のときは、拡大表示中にコマンドレバーで、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、**MF** アシストでデジタルスプリットイメージを設定しているときは、倍率変更できません。
- ▼ フォーカスモードが **S** のときは、**AF** オートフォーカス設定の **AF** モードをシングルポイントに設定してください。
- ▼ フォーカスモードが **C** または **AF** オートフォーカス設定の **プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。



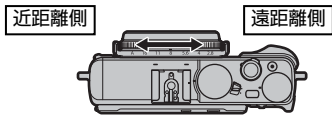
ピントに関する設定を変更したい

M (マニュアルフォーカス) での撮影方法

- 1** フォーカスモード切換レバーで **M** を選びます。
画面に **MF** が表示されます。

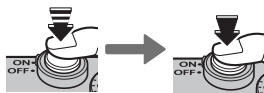


- 2** コントロールリングを回してピントを合わせます。
コントロールリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- ◆ コントロールリングを回す方向は、セットアップメニューの **コントロールリング** (123) で設定できます。

- 3** 撮影します。



● マニュアルフォーカス時の AF-L/AE-L ボタンについて

AF-L/AE-L ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはコマンドレバーで変更できます (87)。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。

- ◆ **AF** オートフォーカス設定のワンタッチ **AF** 時の動作で、**AF-L/AE-L** ボタンの動作を変更できます (103)。
AF-S (シングル AF) のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合せます。**AF-C** (コンティニユアス AF) のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

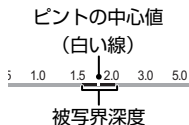
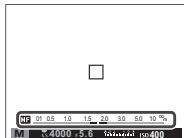
ピントに関する設定を変更したい

マニュアルフォーカスにおけるピントの確認方法

マニュアルフォーカスでは、以下の方法でピントを確認できます。

■ 距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、 **表示設定の距離指標の単位** (図 122) でメートルとフィートを切り換えられます。



■ 拡大表示して確認する (フォーカスチェック)

表示設定のフォーカスチェック (図 122) をONにすると、コントロールリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。コマンドレバーの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます (図 87)。

◆ **MFアシスト**の設定がフォーカスピーキングまたはスタンダードのときは、拡大表示中にコマンドレバーで、拡大表示の倍率を変更できます。



■ 画面に表示された画像で確認する

ピントの確認方法を **MFアシスト**のデジタルスプリットイメージまたはフォーカスピーキングから選べます (図 108)。

◆ コマンドレバーの中央を長押しすると、**MFアシスト**の設定を切り換えることができます。

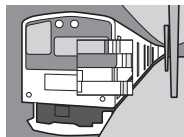
フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。コントロールリングを回して、撮りたい被写体が強調されるように調整してください。



デジタルスプリットイメージ

画面中央部に白黒のスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにコントロールリングを回して、フォーカスを調整してください。

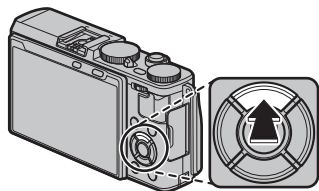


ピントに関する設定を変更したい

AFモードの選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します。

- 1** ファンクション (Fn2) ボタンを押します。
AF モードの設定画面が表示されます。



- 2** 使用する AF モードを選びます。

設定	用途例
<input type="checkbox"/> シングルポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリア (図 87) で、ピントを合わせます。 ◆ 被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
<input type="checkbox"/> ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリア (図 88) で、ピントを合わせます。77 のエリアの中から 5×3、5×5、3×3 のゾーンを選択できます。 ◆ 動く被写体を撮影するときに便利です。
<input type="checkbox"/> ワイド/トラッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーカスモードが S のとき (ワイド) : シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。 ・フォーカスモードが C のとき (トラッキング) : フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリア (図 89) にピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 ① 小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。

- 3** MENU/OK ボタンを押します。
AF モードが設定されます。

◆ AF モードは撮影メニューの **AF** オートフォーカス設定からも設定できます (図 103)。

フォーカスエリア選択

ファンクション (Fn5) ボタンを押すと、フォーカスモード (📖 82) を **S** または **C** に設定したときのピント合わせのエリアを変更できます。AF モード (📖 86) の設定によって、操作が異なります。

◆ フォーカスエリア選択は撮影メニューの **AF** オートフォーカス設定からも設定できます (📖 103)。

◆ フォーカスモードを **M** に設定しているときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

■ AF モードがシングルポイントの場合

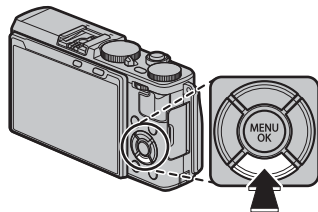
ファンクション (Fn5) ボタンを押すと、フォーカスエリアポイント (+) とフォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアの位置やサイズを変更して、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。

• ▲▼◀▶ で、ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。

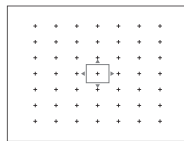
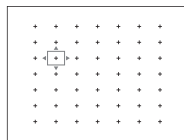
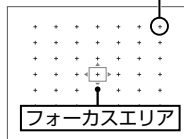
◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

• コマンドレバーで、フォーカスエリアのサイズを変更します。

◆ 左に倒すとサイズが小さく (最小 50%)、右に倒すとサイズが大きく (最大 150%) になります。中央を押すと、100%に戻ります。



フォーカスエリアポイント



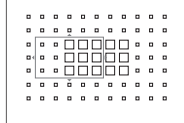
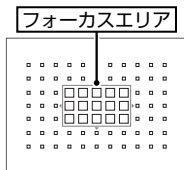
ピントに関する設定を変更したい

■ AFモードがゾーンの場合

ファンクション (**Fn5**) ボタンを押すと、フォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアの位置やサイズを変更して、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。

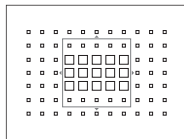
・ ▲▼◀▶ で、ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。

◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。



・ コマンドレバーで、フォーカスエリアのサイズを変更します。

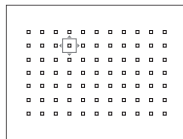
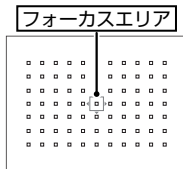
◆ 右に倒すとサイズが5×5、3×3、5×3、5×5の順で拡大されます。左に倒すと逆の順に大きさが変わります。中央を押すと、5×3に戻ります。




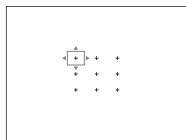
■ AFモードがトラッキングの場合

ファンクション（Fn5）ボタンを押すと、フォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアをトラッキングしたい被写体の位置に移動して、MENU/OKボタンを押すと被写体にフォーカスエリアが設定されます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きと位置に合わせてピントを合わせ続けます。

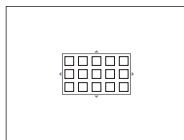
- ◆ AFモードがワイド/トラッキングのときのフォーカスエリア選択は、フォーカスモードがCのときのみ有効です。
- ◆ フォーカスエリアは、▲▼◀▶で移動できます。DISP/BACKボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。



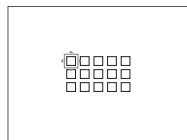
- フォーカスモードがCに設定されていて高速連写するときのフォーカスエリアについて
高速連写（)でフォーカスモードがCのときは、選択できるフォーカスエリアが異なります。



シングルポイント



ゾーン



ワイド/トラッキング

- ◆ ゾーンの場合は、5×5が選べません。

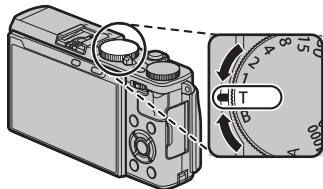
長時間露出で撮影したい

シャッタースピードダイヤルでタイム撮影 (T) またはバルブ撮影 (B) を選択すると、長時間露光撮影ができます。

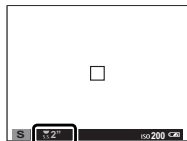
◆ カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

タイム撮影 (T)

1 シャッタースピードダイヤルを **T** に合わせます。



2 コマンドレバーで露光時間を設定します。



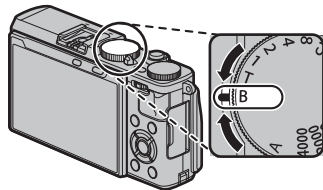
3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。



◆ 撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。

バルブ撮影 (B)

1 シャッタースピードダイヤルを **B** に合わせます。



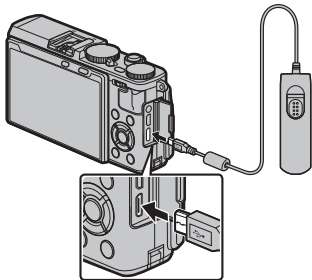
2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。
シャッターが開くのは、最大 60 分間です。



- ◆ 撮影中は、経過時間が表示されます。
- ◆ 絞りを **A** に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- ◆ 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**長秒時ノイズ低減**を **ON** (107) にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートリリース

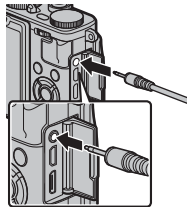
このカメラでは、別売のリモートリリース **RR-90** を使用できます。長時間露光撮影時に便利です。



◆ 詳しくは **RR-90** の使用説明書をご覧ください。

● 市販のリモートリリースを使用する

電子式の市販リモートリリースは、マイク/リモートリリース端子に取り付けることができます。



◆ マイク/リモートリリース端子にリモートリリースを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定**を **リモートリリース** に設定してください。

マイク/リモートリリースの設定を確認してください
OK 決定 **ESC** スキップ

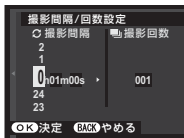
インターバルタイマーを使って撮影したい

設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。

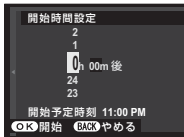
1 MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



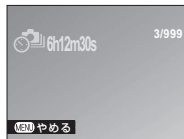
2 ▲▼で インターバルタイマー撮影を選択し、MENU/OK ボタンを押します。インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



3 ▲▼◀▶で撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。開始時間設定画面が表示されます。



4 ▲▼◀▶で開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。
インターバルタイマー撮影が開始されます。



- ① パルプ撮影、パノラマ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。
- ❖ 三脚のご使用をおすすめします。
- ❖ 撮影中のバッテリー切れに注意してください。
- ❖ インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると表示されます。
- ❖ 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを全押しすると、画面表示が復帰します。

AE/AF ロック撮影したい

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

- 1** ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。



- 2** シャッターボタンを半押しします。被写体にピントと露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



◆ シャッターをきる前なら、AE/AF ロックは何度でもやり直せます。



- 3** 半押ししたまま構図を変えます。被写体との距離は変えないでください。



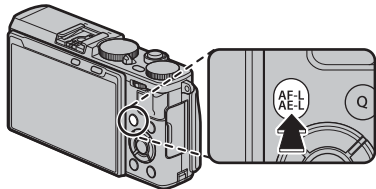
- 4** そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。



AE/AF ロック撮影したい

● AF-L/AE-L ボタンを使う

AF-L/AE-L ボタンを押しても、AF/AE ロックできます。



- ◆ AF-L/AE-L ボタンで AF/AE ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- ◆ AF-L/AE-L ボタンの機能は、撮影メニューの **AE/AF-LOCK** 機能選択 (P.108) で設定を変更できます。

設定	説明
AE LOCK のみ (初期設定)	露出が固定 (AE ロック) されます。
AF LOCK のみ	ピントが固定 (AF ロック) されます。
AE + AF LOCK	ピントと露出の両方が固定されます。

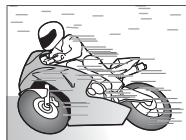
- ◆ 撮影メニューの **AE/AF-LOCK** 設定を押下切替にする (P.108)、AF-L/AE-L ボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときには、もう一度ボタンを押します。

● オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。



鏡や車のボディなど
光沢のあるもの



高速で移動する
被写体

その他のオートフォーカスの苦手な被写体：

- ・ ガラス越しの被写体
- ・ 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- ・ 煙や炎などの実体のないもの
- ・ 背景との明暗差が少ないもの (背景と同色の服を着ている人物など)
- ・ AF フレーム内にコントラスト差が大きいのがあり、その前か後ろに被写体がある場合 (コントラストの強い背景の前の被写体など)

RAW 画像を撮影・現像したい

RAW 画像の撮影

RAW 画像とは、撮像素子から得られる非圧縮の生データのことです。撮影した RAW 画像は、パソコンで画像を再構成するほか、再生メニューの **RAW 現像** (p.96) でさまざまな設定を行ってから JPEG に保存 (現像) できます。RAW 画像は撮影メニューの **画質モード** (p.105) で設定します。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲▼で **画質モード** を選択し、
MENU/OK ボタンを押します。
画質モードの設定画面が表示されます。



- 3** ▲▼で RAW 画像を選びます。

設定	説明
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

- 4** MENU/OK ボタンを押します。
RAW 画像が設定されます。



- ① パソコンで RAW 画像を現像するには、パソコンに RAW FILE CONVERTER がインストールされている必要があります (p.131)。
② 画質モードが **RAW**、**FINE+RAW**、**NORMAL+RAW** のときは、拡張感度 (p.68) は設定できません。

● ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する
撮影メニューの **画質モード** で **FINE** または **NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます。

設定されている画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

再度ファンクションボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定 (左列) に戻ります。

RAW 画像を撮影・現像したい

RAW 画像の現像（カメラ内 RAW 現像）

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

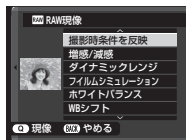
- 1** 再生時に **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ で **RAW** RAW 現像を選びます。



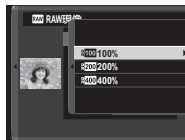
- 3** **MENU/OK** ボタンを押します。
設定できる機能の一覧が表示されます。



- 4** ▲▼ で変更する項目を選びます。



- 5** ▶ で設定の変更に移ります。



- 6** ▲▼ で設定を変更します。



- 7** **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。
手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。



- 8** **Q** ボタンを押します。
保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。



- 9** **MENU/OK** ボタンを押します。
JPEG 画像が保存されます。

**● Q ボタン**

RAW 画像の再生時に **Q** ボタンを押すと、**RAW** RAW 現像を表示できます。

■ RAW 現像設定項目一覧

メニュー項目	機能	設定	📖
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。	—	—
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。	- 1EV ~ + 3EV まで ½EV ステップ	—
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たまに近い写真を撮影できます。	📷100 / 📷200 / 📷400	106
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。	STD / V / S / G / N / N ₂ / B / B ₂ / B ₃ / B ₄ / B ₅	81
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。	AUTO / ☀️ / 🌅 / 🌄 / 🌄 / 🌄 / 🌄 / 🌄 / 🌄	65
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。	- 9 ~ + 9	65
カラー	撮影時の画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは濃いに、薄くしたいときは薄いに設定します。	濃い / やや濃い / 標準 / やや薄い / 薄い	106
シャープネス	撮影時の画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	107
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	107
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	107
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。	強 / やや強 / STD / やや弱 / 弱	107
色空間	画像に適用する色空間を設定します。	sRGB / Adobe RGB	124

撮影の設定を保存したい

撮影メニューの設定を組み合わせせて保存できます。

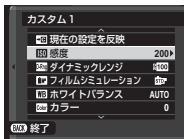
- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2** ▲▼ で カスタム登録 / 編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 3** 設定を保存したい場所をカスタム 1～7 から選び、MENU/OK ボタンを押します。

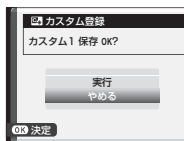


- 4** カスタムに保存できる項目は次のとおりです。個別に設定を変更することが可能です。



ISO 感度	68	シャープネス	107
ダイナミックレンジ	106	ハイライトトーン	107
フィルムシミュレーション	81	シャドウトーン	107
ホワイトバランス	65	ノイズリダクション	107
カラー	106		

- 5** DISP/BACK ボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行を選んで MENU/OK ボタンを押すと、設定が保存されます。




保存した設定は、撮影メニューの カスタム選択で呼び出せます。

- 現在の設定を反映を選択して MENU/OK ボタンを押すと、現在の設定がカスタム 1～7 に書き込まれます。

画像を検索したい

ピクチャーサーチで画像を検索できます。

ピクチャーサーチ

1 再生メニューから  ピクチャーサーチを選びます。

2 検索条件を選びます。

以下の条件から選びます。





検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日の画像を表示します。
顔で検索	指定した顔の情報の画像を表示します。
★お気に入り で 検索	指定した ★ お気に入りランクの画像を表示します (P.37)。
撮影シーン で 検索	指定した撮影シーンを選んで画像を表示します。
画像タイプ で 検索	静止画 / 動画 / RAW のタイプ別に表示します。

3 MENU/OK ボタンを押します。

4 検索条件を絞り込みます。

絞り込む条件を選ぶと、条件に合った画像だけが表示されます。


- ◆ サーチ画面を表示した状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。操作方法は参照ページをご覧ください。

メニュー	
 消去	42
 プロテクト	114
 スライドショー	116

フォトブックを作成したい

フォトブックアシストでフォトブックを作成できます。

フォトブックアシスト

1 再生メニューから  フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。
フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。
全画像から選択：保存されているすべての画像から1枚ずつ選択できます。
サーチして選択：指定した条件で検索した画像から選択できます (p.99)。

◆ 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

4 画像を選択します。

▲ で表示されている画像を選択または選択解除します。

▼ で表示されている画像を表紙にします。

◆ 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

5 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

6 作成終了を選びます。

◆ 全て選択を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

7 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

① フォトブックで選択できる画像は300枚までです。

① 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭でカンタンに注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。

◀または▶で次や前の画像に移動できます。



作成したフォトブックを編集 / 削除する

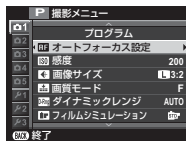
- 1** 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2** 編集または削除を選びます。
編集：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです (📖 100)。
削除：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3** 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 3** ▶ で設定の変更に移ります。



- 4** ▲ または ▼ で設定を変更します。



- 5** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 6** DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面に戻ります。




撮影メニュー一覧

◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

アドバンストフィルター

撮影時のフィルター効果を選択できます (p.80)。

◆ ドライブモードで  アドバンストフィルターを選んでいるときのみ使用できます。

シーン選択

オートモード切換レバーが **AUTO** のときの撮影シーンを選べます (p.63)。

オートフォーカス設定

オートフォーカスに関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
フォーカスエリア選択	フォーカスモードが S または C のときのピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスモードが M のときは、オートフォーカスでピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます (p.87)。	
AF モード	フォーカスモードが S または C のときの AF モードを設定します (p.86)。	
リリース優先 / フォーカス優先	シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが AF-S のときと、 AF-C のときのそれぞれを個別に設定できます。	
	設定	説明
	リリース	ピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。	
ワンタッチ AF 時の動作	フォーカスモードが M のときの AF-L/AE-L ボタンによるピント合わせの方法を変更できます (p.84)。	

AF オートフォーカス設定 (続き)

顔キレイナビ

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。

設定：ON/OFF



緑色の枠

- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。
- ◆ 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- ① 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- ① 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

瞳 AF

顔キレイナビが ON のときにカメラが人物の瞳を検出すると、目にピントを合わせることができます。



設定	説明
AUTO	カメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
R 右目優先	右目にピントを合わせます。
L 左目優先	左目にピントを合わせます。
OFF	瞳 AF 機能は使用しません。

◆ メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。

プリ AF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。

設定：ON/OFF

① ON にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定：ON/OFF

◆ 電子音 & フラッシュを OFF にすると、AF 補助光は発光しません。

① シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。

① マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。

① 人の目に近づけて発光させないでください。

ISO 感度

光に対する感度を変更できます (P.68)。

画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。現在の設定で撮影可能な枚数 (P.167) が、画面のピクセルアイコンの右側に表示されます。

◆ **画像サイズ**は、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

設定	用途例
L 3:2 / L 16:9 / L 1:1	A3、四切 (254mm×305mm)、四切 W サイズ程度で印刷する場合に適しています。
M 3:2 / M 16:9 / M 1:1	六切 (203mm×255mm)、A4 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
S 3:2 / S 16:9 / S 1:1	DSC (89mm×119mm)、L (89mm×127mm)、A6 サイズ程度で印刷する場合に適しています。

● 画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率が低いため画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

D-Range ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
AUTO (自動調整)	#100 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。 ⇕
	#200 200%	
	#400 400%	コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。

① ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

◆ ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。

◆ #200 200%は感度がISO400以上、#400 400%はISO800以上のときに設定できます。

F フィルム シミュレーション

撮影する画像の発色や階調を変更できます (p.81)。

S セルフタイマー

セルフタイマーを使用できます (p.53)。

I インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影を設定できます (p.92)。

WB ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます (p.65)。

Color カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは**濃い**に、薄くしたいときは**薄い**に設定します。

設定：(+2)濃い / (+1)やや濃い / (0)標準 / (-1)やや薄い / (-2)薄い

Sharp シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは**ハード**に、ソフトにしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード / (+1)ミディアムハード / (0)スタンダード / (-1)ミディアムソフト / (-2)ソフト

HL ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード / (+1)ミディアムハード / (0)スタンダード / (-1)ミディアムソフト / (-2)ソフト

SH シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード / (+1)ミディアムハード / (0)スタンダード / (-1)ミディアムソフト / (-2)ソフト

NR ノイズリダクション

高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは**強**に、画像の輪郭を残したいときは**弱**に設定します。

設定：(+2)強 / (+1)やや強 / (0)スタンダード / (-1)やや弱 / (-2)弱

LR 長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時 (📖 90) のノイズを低減できます。

設定：ON/OFF

CS カスタム選択

CS カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

設定：カスタム 1 / カスタム 2 / カスタム 3 / カスタム 4 / カスタム 5 / カスタム 6 / カスタム 7

CS カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせ保存できます (📖 98)。


撮影の設定を変える — 撮影メニュー

 ワイドコンバージョンレンズ

別売の専用ワイドコンバージョンレンズを使用するときは、**ON** にしてください (図 148)。

 コントロールリング設定

コントロールリングに割り当てる機能を設定できます (図 57)。

 タッチパネルモード

液晶画面 (LCD) のタッチ操作で、撮影やフォーカスエリア選択ができるように設定できます (図 31)。

 MF アシスト

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します (図 85)。

設定	説明
スタンダード	通常表示です (デジタルスプリットイメージ / フォーカスピーキング機能を使用しません)。
デジタルスプリットイメージ	白黒のスプリットイメージを表示します。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。 設定 : ホワイト (弱) / ホワイト (強) / レッド (弱) / レッド (強) / ブルー (弱) / ブルー (強)

 AE-L/AF-LOCK 設定

AE-L/AF-L ボタンを押したときの機能を設定します (図 94)。

設定	説明
AE-L/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

 AE-L/AF-LOCK 機能選択

AE-L/AF-L ボタンを押したときに、ピントのみを固定するか、ピントと露出の両方を固定するかを設定できます (図 94)。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します（[71](#)）。

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、**測光**が **スポット**で **オートフォーカス設定の AF モード**が **シングルポイント**のときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定：ON/OFF

フラッシュ設定

フラッシュのモードや発光量を変更できます。

サブメニュー	内容
フラッシュモード	使用するフラッシュのモードを選べます（ 54 ）。
フラッシュ調光補正	撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。 設定：+2/+1⅔/+1⅓/+1/+⅔/+⅓/±0/-⅓/-⅔/-1/-1⅓/-1⅔/-2 ◆ 被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。
赤目補正	暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。 設定：ON/OFF ◆ 顔が検出できないときは、赤目補正されません。 ◆ RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

 動画設定

動画撮影に関する設定を行います (図 44)。

サブメニュー	内容														
動画モード	撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1920 × 1080 60fps</td> <td rowspan="5">フレームレートが 60fps、50fps、30fps、25fps、24fps のフルハイビジョン動画</td> </tr> <tr> <td> 1920 × 1080 50fps</td> </tr> <tr> <td> 1920 × 1080 30fps</td> </tr> <tr> <td> 1920 × 1080 25fps</td> </tr> <tr> <td> 1920 × 1080 24fps</td> </tr> <tr> <td> 1280 × 720 60fps</td> <td rowspan="5">フレームレートが 60fps、50fps、30fps、25fps、24fps のハイビジョン動画</td> </tr> <tr> <td> 1280 × 720 50fps</td> </tr> <tr> <td> 1280 × 720 30fps</td> </tr> <tr> <td> 1280 × 720 25fps</td> </tr> <tr> <td> 1280 × 720 24fps</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 1920 × 1080 60fps	フレームレートが 60fps、50fps、30fps、25fps、24fps のフルハイビジョン動画	 1920 × 1080 50fps	 1920 × 1080 30fps	 1920 × 1080 25fps	 1920 × 1080 24fps	 1280 × 720 60fps	フレームレートが 60fps、50fps、30fps、25fps、24fps のハイビジョン動画	 1280 × 720 50fps	 1280 × 720 30fps	 1280 × 720 25fps	 1280 × 720 24fps
設定	説明														
 1920 × 1080 60fps	フレームレートが 60fps、50fps、30fps、25fps、24fps のフルハイビジョン動画														
 1920 × 1080 50fps															
 1920 × 1080 30fps															
 1920 × 1080 25fps															
 1920 × 1080 24fps															
 1280 × 720 60fps	フレームレートが 60fps、50fps、30fps、25fps、24fps のハイビジョン動画														
 1280 × 720 50fps															
 1280 × 720 30fps															
 1280 × 720 25fps															
 1280 × 720 24fps															
動画感度	撮影する動画の感度を変更できます (図 68)。 設定：6400/5000/4000/3200/2500/2000/1600/1250/1000/800/640/500/400/AUTO ◆ 設定した感度は静止画撮影には反映されません。														
マイクレベル設定	マイクレベルを変更できます。 設定：1 ~ 4														
マイク/リモートリリース設定	マイク/リモートリリース端子の設定を変更できます (図 45、91)。 設定：  マイク /  リモートリリース														

 フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーションプラケティングで撮影するフィルムシミュレーションの設定を変更できます (図 75、76、81)。

 ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます (図 129)。

◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影できます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
MS メカニカル+ ES 電子	カメラが状況に応じたシャッターで撮影します。

- ◆ ES 電子シャッターまたは MS メカニカル+ ES 電子に設定すると、シャッタースピードダイヤルを **4000** にしたあとにコマンドレバーで、より高速のシャッタースピードを選べます。
- ◆ 電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。
 - ・ 感度は 6400 ~ 200、シャッタースピードは 1/32000 ~ 1 秒に制限されます。
 - ・ ぐるっとパノラマ撮影時は、メカニカルシャッターになります。
 - ・ 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
 - ・ 連写撮影では、ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- ① 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - ・ 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
 - ・ 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
 - ・ シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任でお使いください。


デジタルテレコン

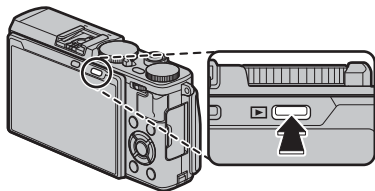
ON にすると、異なる焦点距離の拡大画像をデジタル超解像処理によって撮影できます (p.64)。

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

- 1**  ボタンを押します。
再生モードに切り換わります。



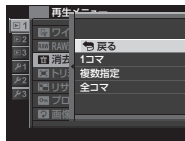
- 2** MENU/OK ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。



- 3** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 4**  で設定の変更に移ります。



- 5** ▲ または ▼ で設定を変更します。



- 6** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 7** DISP/BACK ボタンを押して、再生画面に戻ります。



再生メニュー一覧

📶 ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます (図 129)。

◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

RAW RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存 (現像) できます (図 96)。


🗑️ 消去

画像消去できます (図 42)。

✂️ トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング (切り抜く) できます。

トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューで  トリミングを選びます。
- 3 コマンドレバーとセレクターボタンで切り抜きたい部分を調整します。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。


- ◆ 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- ◆ トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- ◆ トリミングした画像の縦横比は、**3:2** になります。

再生の設定を変える — 再生メニュー

 リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。


リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューで  リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズ (**M**、**S**、**640**) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

◆ 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

 プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

- 1 再生メニューで  プロテクトを選びます。
- 2 プロテクトの方法を選びます。
 - ・ **設定 / 解除** : プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる画像はプロテクト設定が解除されます。
 - ◆ 手順3のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
 - ・ **全コマ設定** : すべての画像がプロテクトされます。
 - ・ **全コマ解除** : すべての画像のプロテクト設定を解除します。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。
- 4 **DISP/BACK** ボタンを押して、プロテクトを終了します。

① メモリーカードをフォーマット (126) すると、プロテクトした画像も消去されます。

🔄 画像回転

画像を回転できます。

- 1 再生画面で回転したい画像を選びます。
- 2 再生メニューで 🔄 画像回転を選びます。
- 3 セレクターボタンの ▼（時計回りに 90° 回転）または ▲（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。
- 4 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。
 - ◆ プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
 - ◆ 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
 - ◆ 📄 表示設定の縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します（📄 122）。

👁️ 赤目補正

人物の赤目を補正できます。

赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。
- 2 再生メニューで 👁️ 赤目補正を選びます。
- 3 MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。
 - ◆ 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
 - ◆ 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
 - ◆ 赤目補正済みの (👁️) が表示されている画像は、それ以上赤目補正できません。
 - ◆ RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

再生の設定を変える — 再生メニュー

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。

- **MENU/OK** ボタン：スライドショーの開始 / 終了
- **DISP/BACK** ボタン：スライドショー終了のガイダンスが表示
- ◀ または ▶：コマ送り（マルチ以外）

設定	説明
ノーマル 	1 コマずつ再生
フェード 	1 コマずつフェードアウトしながら再生
マルチ	複数コマを一度に再生

* 検出した顔を拡大表示して再生します。

◆ スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます (📖 100)。

ピクチャーサーチ

さまざまな条件で、画像を検索できます (📖 99)。

PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます (📖 130)。

◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

プリント予約 (DPOF)

DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します (📖 138)。

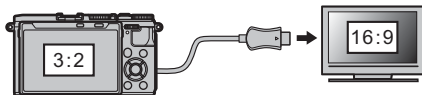
instax プリンタープリント

別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます (📖 141)。

表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定	16:9	3:2
イメージ		

◆ **16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。**3:2** に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

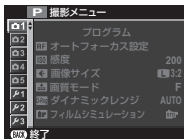
日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

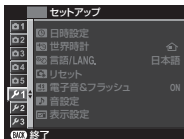
- 1** MENU/OK ボタンを押します。
メニューが表示されます。



- 2** ◀ でタブ選択に移ります。



- 3** ▼ でセットアップタブに移ります。



- 4** ▶ でセットアップ画面を表示します。



- 5** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 6** ▶ で設定の変更に移ります。



- 7** ▲ または ▼ で設定を変更します。



- 8** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 9** DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。



セットアップメニュー一覧

🕒 日時設定

日付と時刻を設定します。

日時の設定方法については、「初期設定を行う」をご覧ください (📖 29)。

🌐 世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
🏠 ホーム	「初期設定を行う」(📖 29) で設定した地域の日時を表示
📍 現地	旅行先の日時を表示

● 現地時間の設定

- 📍 現地を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 時差を設定します。
 - ◀ または ▶ : + / -、時間、分の選択
 - ▲ または ▼ : 設定の変更
- MENU/OK ボタンを押します。

📍 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に 📍 と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

🗣️ 言語/LANG.

画面に表示する言語を設定します。

🔄 リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

- リセットするメニュー(撮影メニューリセットまたはセットアップリセット)を選び ▶ を押すと、確認画面が表示されます。
- 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。
 - 📷 撮影メニューリセットでは、📄 カスタム登録 / 編集の内容、📏 ホワイトバランスの 📏 の内容、📶 ワイヤレス通信の内容以外がリセットされます。
 - 📷 セットアップリセットでは、🕒 日時設定と 🌐 世界時計以外がリセットされます。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

🔊 電子音 & フラッシュ

OFF にすると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定：ON/OFF

🔊 OFF に設定すると、画面に 🔊 が表示されます。

🎵 音設定

音に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
操作音量	ボタンなどを操作するときの音量を設定します。 設定：🔊1/🔊1/🔊1/🔊OFF 🔊 音を消したいときは、🔊OFF を選びます。
シャッター音量	シャッターをきるときの音量を設定します。 設定：🔊1/🔊1/🔊1/🔊OFF 🔊 音を消したいときは、🔊OFF を選びます。
シャッター音	シャッターをきるときの音を設定します。 設定：サウンド 1/ サウンド 2/ サウンド 3
再生音量	再生時の音量を設定します。 設定：0 ~ 10

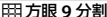
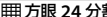


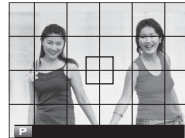

 表示設定

画面表示に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容								
撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連続</td> <td>シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。コマンドレバーの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。</td> </tr> <tr> <td>1.5 秒 / 0.5 秒</td> <td>撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、OFF になります。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>表示しません。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。コマンドレバーの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。	1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、OFF になります。	OFF	表示しません。
	設定	説明							
	連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。コマンドレバーの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。							
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、OFF になります。								
OFF	表示しません。								
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。 ◆ 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。 									
<p>マニュアル時モニター露出反映</p> <p>ON にすると、マニュアル (M) 撮影 (p.62) で露出を反映した画像が画面に表示されます。</p> <p>設定: ON/OFF</p> <p>◆ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、マニュアル時モニター露出反映 を OFF にしてください。</p>									
<p>LCD 明るさ</p> <p>LCD (液晶モニター) の明るさを調整できます。</p> <p>設定: -5 ~ +5</p>									
<p>LCD 鮮やかさ</p> <p>LCD (液晶モニター) の鮮やかさを調整できます。</p> <p>設定: -5 ~ +5</p>									
<p>モニター撮影効果反映</p> <p>ON にすると、フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。 OFF にすると、撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。</p> <p>◆ OFF では表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。</p>									

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

表示設定 (続き)

サブメニュー	内容			
	撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。			
フレーミングガイド	設定	 方眼 9 分割	 方眼 24 分割	 HD フレーミング
	説明	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。
	イメージ			
縦横自動回転再生	ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。 設定: ON/OFF			
フォーカスチェック	ON にすると、フォーカスモードが M のときにコントロールリングを回すと自動的に拡大表示されます (85)。 設定: ON/OFF			
距離指標の単位	撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます (85)。 設定: メートル / フィート			
画面のカスタマイズ	撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます (33)。			

操作ボタン / ダイヤル設定

操作ボタンに関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
ファンクション (Fn) 設定	ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます (50)。 セレクトターボタン (▲▼◀▶) の機能を変更できます。	
セレクトターボタン設定	設定	説明
	Fn ボタン	セレクトターボタンは、ファンクションボタンとして機能します。
	フォーカスエリア	フォーカスエリアの位置を直接変更できます。
クイックメニュー登録 / 編集	クイックメニューに表示するメニューを変更できます (49)。	

④ コントロールリング

マニュアルフォーカス（MF）時に遠距離側に合わせる場合の、コントロールリングの回転方向を設定できます。

設定：🕒 時計回り / 🕒 反時計回り

🖱️ タッチパネル設定

液晶画面（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます（📖 31、41）。

🔋 消費電力設定

消費電力に関する設定を変更できます。

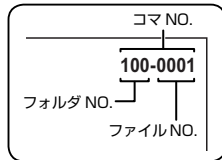
サブメニュー	内容	
自動電源 OFF	自動的に電源をオフにできます。	
	設定	説明
	5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
	2分	
OFF	自動的に電源がオフになりません。	
	◆ 設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。	
ハイパフォーマンス	ON にすると、ピント合わせと、カメラの再起動時の立ち上げ速度が速くなります。 設定：ON/OFF	

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

保存設定

画像の保存に関する設定を変更できます。


サブメニュー	内容		
コマ NO.	コマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を設定します。メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。		
	設定	説明	
	連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ◆ ファイル名の重複を防げます。	
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 ◆ フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。		
<p>◆ コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります (P.165)。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。</p> <p>◆ リセットを行ってもコマ NO. はリセットされません。</p> <p>◆ 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。</p>			
補正前画像記録	ON にすると、 赤目補正 の処理前の画像も同時に記録します。 設定：ON/OFF		
ファイル名編集	ファイル名 (DSCF****/_DSF****) をそれぞれ変更できます。		
	色空間	工場出荷時	変更例
	sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****	












色空間

カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	商用印刷用途などに適しています。

 接続設定

スマートフォンやパソコン、FUJIFILM instax SHARE プリンターなどの無線 LAN 接続に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容								
	無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。								
ワイヤレス設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共通設定</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 名前：無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。 工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。 設定初期化：無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。 </td> </tr> <tr> <td>スマートフォン送信時  圧縮</td> <td> スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。 OFF：元画像のサイズのまま送信します。 スマートフォン送信時  圧縮を ON して画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 </td> </tr> <tr> <td>PC 保存設定</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保存先削除：設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。 前回接続情報：直前に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。 </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	内容	共通設定	<ul style="list-style-type: none"> 名前：無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。 工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。 設定初期化：無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。 	スマートフォン送信時  圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。 OFF：元画像のサイズのまま送信します。 スマートフォン送信時  圧縮を ON して画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 	PC 保存設定	<ul style="list-style-type: none"> 保存先削除：設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。 前回接続情報：直前に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。
	サブメニュー	内容							
	共通設定	<ul style="list-style-type: none"> 名前：無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。 工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。 設定初期化：無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。 							
	スマートフォン送信時  圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。 OFF：元画像のサイズのまま送信します。 スマートフォン送信時  圧縮を ON して画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 							
PC 保存設定	<ul style="list-style-type: none"> 保存先削除：設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。 前回接続情報：直前に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。 								
PC 保存先設定	PC 保存の保存先を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 簡単設定：無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、保存先 (PC) を設定します。 手動設定：無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先 (PC) を設定します。 								
位置情報設定	スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>位置情報記録</td> <td> スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録します。 設定：ON/OFF </td> </tr> <tr> <td>位置情報表示</td> <td> スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。 設定：ON/OFF </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	内容	位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録します。 設定：ON/OFF	位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。 設定：ON/OFF		
	サブメニュー	内容							
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録します。 設定：ON/OFF								
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。 設定：ON/OFF								
instax プリンター接続設定	別売の FUJIFILM instax SHARE との接続を設定します (P.140)。								

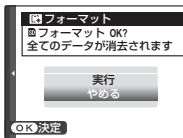
◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

[F] フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

- 1 セットアップメニューで [F] フォーマットを選びます。
- 2 MENU/OK ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



- 3 ▲ で実行を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォーマットが実行されます。

◆ 確認画面でやめるを選んだ状態で MENU/OK ボタンを押したり、DISP/BACK ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

- ① プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- ① フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

工場出荷時の設定値

撮影メニューとセットアップメニューの工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

◆ セットアップメニューの リセットを実行すると (P.119)、工場出荷時の設定に戻せます。

■ 撮影メニュー

メニュー	工場出荷時
アドバンスドフィルター	トイカメラ
シーン選択	アドバンスド SR オート
AF オートフォーカス設定	
AF モード リリース優先 / フォーカス優先	ザーン AF-S モード時の優先: リリース AF-C モード時の優先: リリース
ワンタッチ AF 時の動作	AF-S
顔キレイナビ	OFF
瞳 AF	AUTO
プリ AF	OFF
AF 補助光	ON
ISO 感度	AUTO3
画像サイズ	3:2
画質モード	FINE
ダイナミックレンジ	100%
フィルムシミュレーション	PROVIA/ スタンダード
セルフタイマー	OFF
ホワイトバランス	AUTO
カラー	(0) 標準
シャープネス	(0) スタンダード
ハイライトトーン	(0) スタンダード
シャドウトーン	(0) スタンダード
ノイズリダクション	(0) スタンダード
長秒時ノイズ低減	ON

メニュー	工場出荷時
カスタム選択	カスタム 1
ワイドコンバージョンレンズ	OFF
コントロールリング設定	スタンダード
タッチパネルモード	OFF
MF アシスト	スタンダード
AE/AF-LOCK 設定	AE/AF-LOCK 押下中のみ
AE/AF-LOCK 機能選択	AE LOCK のみ
測光	マルチ
測光 & フォーカスエリア連動	ON
フラッシュ設定	
フラッシュモード	発光禁止
フラッシュ調光補正	± 0
赤目補正	OFF
動画設定	
動画モード	1920 × 1080 60fps
動画感度	AUTO
マイクレベル設定	3
マイク/リモートリリース設定	マイク
フィルムシミュレーション BKT	
フィルム 1	PROVIA/ スタンダード
フィルム 2	Velvia/ ピビッド
フィルム 3	ASTIA/ ソフト
シャッター方式	MS メカニカルシャッター

工場出荷時の設定値

■ セットアップメニュー

メニュー	工場出荷時
電子音 & フラッシュ	ON
音設定	
操作音量	
シャッター音量	
シャッター音	♪1サウンド1
再生音量	7
表示設定	
撮影画像表示	OFF
マニュアル時モニター露出反映	ON
LCD 明るさ	0
LCD 鮮やかさ	0
モニター撮影効果反映	ON
フレーミングガイド	方眼 9 分割
縦横自動回転再生	ON
フォーカスチェック	OFF
距離指標の単位	メートル
画面のカスタマイズ	フレーミングガイド： <input type="checkbox"/> 電子水準器： <input type="checkbox"/> AF 時の距離指標： <input type="checkbox"/> ヒストグラム： <input type="checkbox"/> その他すべて： <input checked="" type="checkbox"/>
操作ボタン / ダイヤル設定	
ファンクション (Fn) 設定	50 参照
セレクターボタン設定	Fn ボタン
クイックメニュー登録 / 編集	47 参照

メニュー	工場出荷時
コントロールリング	時計回り
タッチパネル設定	ON
消費電力設定	
自動電源 OFF	2 分
ハイパフォーマンス	OFF
保存設定	
コマ NO.	連番
補正前画像記録	OFF
色空間	sRGB
接続設定	
ワイヤレス設定	スマートフォン送信時 圧縮：ON
位置情報設定	位置情報記録：ON 位置情報表示：ON

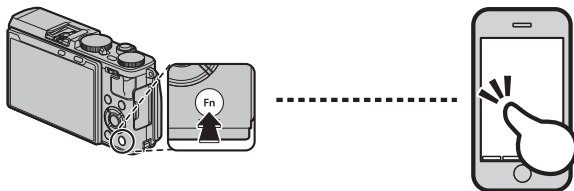
無線 LAN 機能を使用する

無線 LAN を使って、カメラとスマートフォンやパソコンと通信が出来ます。無線 LAN 機能の使用方法和アプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

スマートフォンと通信する


カメラのファンクション（Fn6）ボタンを押すと、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

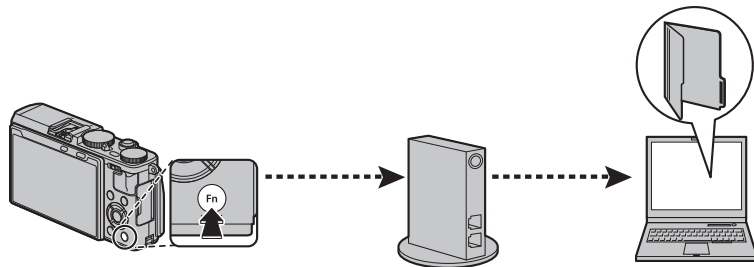
これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

◆ 撮影 / 再生メニューの  ワイヤレス通信からも通信できます。

スマートフォンに画像を送信する

パソコンに画像を保存する

再生モードでカメラのファンクション（Fn6）ボタンを長押しすると、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。



この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。

◆再生メニューの  PC 保存からも通信できます。

カメラをパソコンに接続して画像を転送する

Windows をお使いの方

Windows をお使いの方は **MyFinePix Studio** を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。**MyFinePix Studio** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

ダウンロードしたファイル「**MFPS_Setup.EXE**」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。インストールが終了したら「カメラとパソコンを接続する」(132) に進んでください。

Mac (Macintosh) をお使いの方

Mac (Macintosh) をお使いの方は、Mac OS 標準アプリケーションの**イメージキャプチャ**などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。「カメラとパソコンを接続する」(132) に進んでください。

● RAW 画像をパソコン上で現像するには

RAW FILE CONVERTER を使うと、RAW 画像をパソコン上で現像できます。**RAW FILE CONVERTER** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

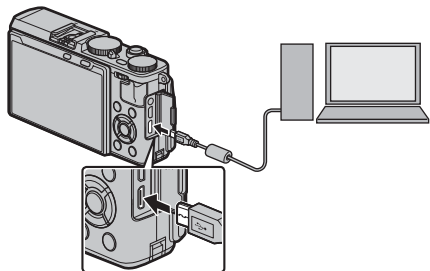
カメラをパソコンに接続して画像を転送する

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

◆ Windows をお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

- 1 パソコンを起動します。
- 2 カメラの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



① USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

- 4 カメラの電源をオンにします。
- 5 MyFinePix Studio や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。
- 6 画像の取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

- ① 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- ① メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- ① カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯していることを確認してください。
- ① カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
 - カメラの電源をオフにする
 - USB ケーブルを抜く
- ① メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ① ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- ① パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- ① インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

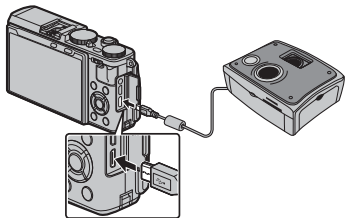
ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

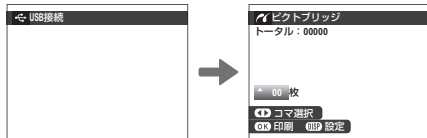
プリンターに接続する

- 1 USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。



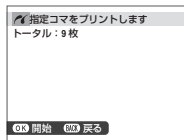
- 2 カメラの電源をオンにします。

液晶モニターに USB 接続画面が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。



その場で選んでプリントする

- 1 プリントしたい画像を選びます。
- 2 プリント枚数を指定します。
最大 99 枚まで設定できます。
- 3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。
- 4 MENU/OK ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



- 5** もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。



- ◆ プリント枚数を 1 枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押すと、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- ◆ お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

● 日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント** を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

プリント予約した設定でプリントする

1 **プリント予約 (DPOF)** (p.138) であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

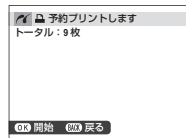
- 1** **DISP/BACK** ボタンを押します。
ピクトブリッジの設定画面が表示されます。



- 2** **予約プリント** を選びます。



- 3** **MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



- 4** もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。



プリンターにカメラをつないでプリントする

●● プリントの中止


プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。

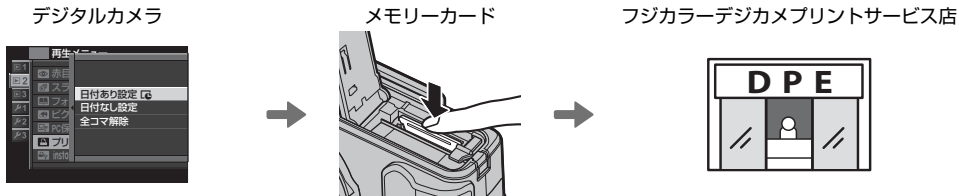
**●● プリンターとの接続を切るには**


カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

- ◆ このカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- ◆ カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、フチあり / フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約（DPOF）**であらかじめDPOF指定（ 138）した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。




事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（**プリント予約（DPOF）**： 138）。




画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。詳細は、<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html> をご覧ください。

● デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、131 ページを参照してください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（ 29）。
- パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください（「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

プリントする画像を指定する (プリント予約 (DPOF))

再生メニューの  プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり ( 134)、フジカラーデジタルカメラプリントサービス取扱店でお店プリントするとき ( 137) に、指定した内容で簡単にプリントできます。

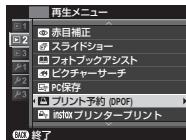
DPOF 指定

DPOF (ディーポフ) とは、Digital Print Order Format (デジタルプリントオーダーフォーマット) のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

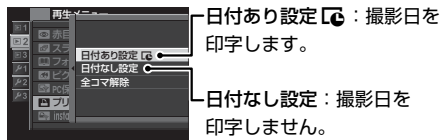


■ 日付あり設定 / 日付なし設定

1 再生メニューで プリント予約 (DPOF) を選びます (116)。



2 日付あり設定 または日付なし設定を選びます。



3 MENU/OK ボタンを押します。



4 DPOF 指定する画像を選びます。

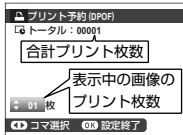


プリントする画像を指定する ( 予約プリント (DPOF))

5 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。



- DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。




6 プリントしたいすべての画像に対して手順 4 と 5 を行います。



設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを、設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

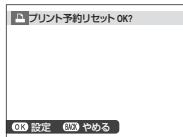
7 合計枚数を確認して、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。



DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。



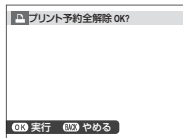
- ◆ 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- ◆ 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。
- ◆ 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。



■ 全コマ解除

現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

全コマ解除 を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。



instax SHARE プリンターでカメラの画像をプリントする

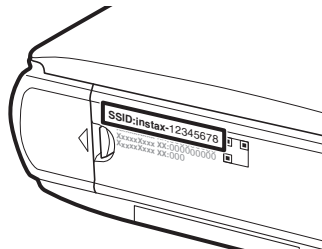
別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます。

プリンターとの接続を設定する

📶 接続設定の **instax プリンター接続設定** を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

■ プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。既にスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

- 1** プリンターの電源を入れます。



- 2** 再生メニューから instax プリンタープリント を選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



- ◆ 連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

- 3** プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- ◆ 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- ◆ プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

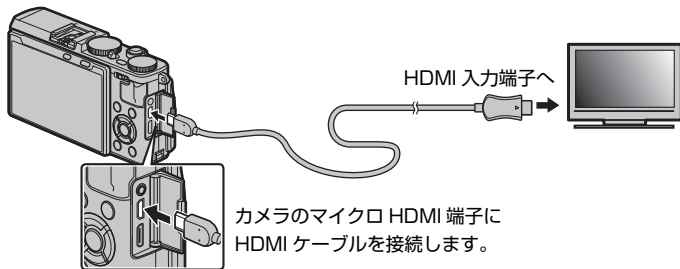
- 4** 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。



テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショーを大勢で楽しむことができます。

1 カメラの電源をオフにします。



2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。

- ① USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- ① HDMI ケーブルは、長さが 1.5m 以内のものをご使用ください。
- ① HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- ① テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。

- 3** テレビの入力を HDMI 入力に切り換えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
 - 4** カメラの電源をオンにし、▶（再生）ボタンを押します。
カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。
- ① ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ◆ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。










カメラで使えるアクセサリ

アクセサリ

別売アクセサリ

このカメラでは、次の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。

充電式バッテリー NP-95：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。	
バッテリーチャージャー BC-65N：充電式バッテリー NP-95 を充電します。充電時間は約 4 時間（+20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz 対応）。	
リモートリリース RR-90：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。	
ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。	
クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能を搭載。バウンス角度は上 90° です。単三電池 2 本を使用します。	
クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24～105mm (35mm 判フィルム換算) のオートズーム機能を搭載。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120° です。単三電池 4 本を使用します。	
クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。	

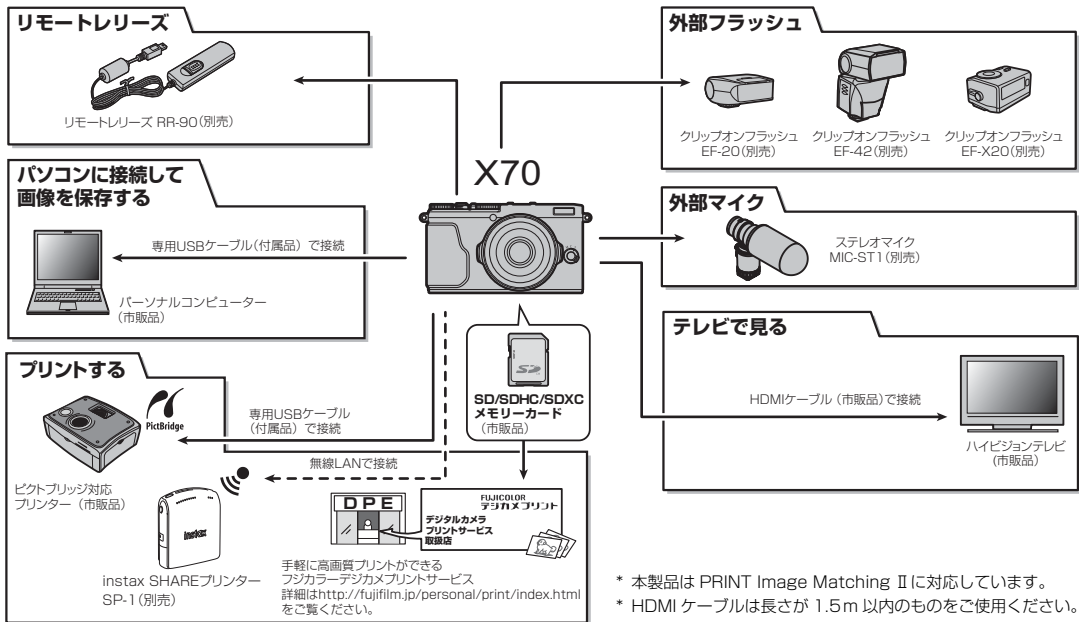
instax SHARE プリンター SP-1 : 撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。
レザーケース BLC-X70 : X70 専用の本革製ケースです。カメラを装着したままの撮影が可能です。ハンドストラップと、バッグに収納する際にカメラを包むことができるクロスケースを同梱しています。
プロテクトフィルター PRF-49S : フィルター径が $\phi 49\text{mm}$ のプロテクトフィルターです。
レンズフード LH-X70 : アルミニウム製のレンズフードです。同素材のアダプターリングを同梱しています。
ワイドコンバージョンレンズ WCL-X70 : カメラに装着すると、焦点距離よりも広角側で撮影できます。
外部ファインダー VF-X21 : 28mm/21mm (35mm 判フィルム換算) の構図確認用の外付け光学ファインダーです。専用のポーチを同梱しています。

※最新情報については、富士フィルムホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

システム構成図

このカメラは、さまざまな富士フィルムおよび他社製品に対応しています。



* 本製品は PRINT Image Matching II に対応しています。
* HDMI ケーブルは長さが 1.5m 以内のものをご使用ください。

* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます (パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください)。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。

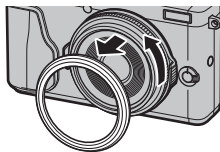
<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

別売アクセサリの取り付け方

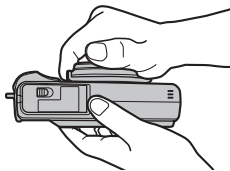
■ アダプターリング

◆ アダプターリングはレンズフード LH-X70 に同梱されているものをご使用ください。

1 フロントリングをはずします。

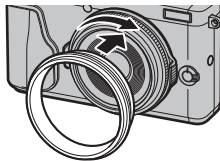


◆ フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりとつかんで回してください。



2 アダプターリングを取り付けます。

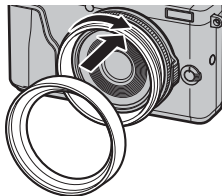
図のように突起部が手前になるようにしてください。



- ① はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。
- ① レンズフード LH-X70 やプロテクトフィルター PRF-49S、市販のフィルターなどを取り付けるときは、必ずアダプターリングを先に装着してください。

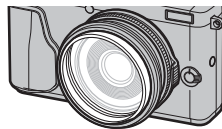
■ レンズフード LH-X70

アダプターリングを取り付けてから、レンズフードを取り付けます。




■ プロテクトフィルター PRF-49S


アダプターリングを取り付けてから、プロテクトフィルターを取り付けます。

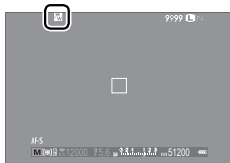




ワイドコンバージョンレンズの使い方

別売の専用ワイドコンバージョンレンズ **WCL-X70** を使用するときには、撮影メニューの  **ワイドコンバージョンレンズ** を **ON** にしてください (108)。

① ワイドコンバージョンレンズを使用するときには、カメラのファームウェアバージョンを最新にしてください。

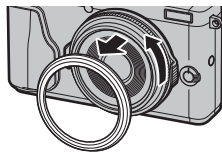
◆  **ワイドコンバージョンレンズ** を **ON** にすると、画面にアイコンが表示されます。



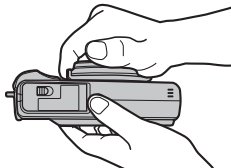
- ◆ 内蔵フラッシュを使用して撮影すると、画像の一部が暗くなる場合があります。専用外部フラッシュのご使用をおすすめします。
- ◆  **ワイドコンバージョンレンズ** は、Fn ボタンに割り当てることができます。
- ◆ ワイドコンバージョンレンズを使用しないときは、必ず  **ワイドコンバージョンレンズ** を **OFF** にしてください。

■ 取り付け方

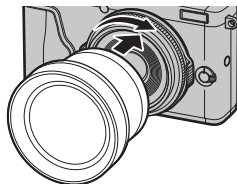
1 フロントリングをはずします。



◆ フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりつかんで回してください。



2 ワイドコンバージョンレンズを取り付けます。



① はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。
ます。

- ・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



警告
この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意
この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。

内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。
・感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。



接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

警告



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。
電池は極性(⊕ ⊖)表示どおりに入れてください。



電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。

電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・ケガの原因になります。



指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用したない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。
視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。



レンズまたはカメラで直接太陽をみない。
失明や視力障害になる恐れがあります。



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性/爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。




電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

お取り扱いにご注意ください

お取り扱いにご注意ください

⚠ 警告	
!	メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。 メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
!	小さいお子様の手の届くところに置かない。 誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。
!	飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。 本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意	
⊘	油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。 火災・感電の原因になることがあります。
⊘	異常な高温になる場所に置かない。 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。 火災の原因になることがあります。
⊘	本製品の上に重いものを置かない。 バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。
⊘	AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。 電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
⊘	本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
!	電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 火災・感電の原因になることがあります。
!	お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。 火災・感電の原因になることがあります。
	充電終了後は充電器をコンセントから抜く。 コンセントにつけたままにしておくとう火災の原因になることがあります。
!	メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。 飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意	
!	定期的な内部点検・清掃を依頼する。 本製品の内部にはほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。 ・2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。
!	使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。 太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
!	逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。 太陽光がカメラ内に直接入ることで、カメラ内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
!	三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。 転倒したり、ぶつかりたりしてケガの原因になることがあります。

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

- ※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- ・バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- ・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- ・寒冷地や低温時には撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■充電について

- ・付属の充電器を使用して充電できます。
- 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- ・充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- ・充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- ・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- ・充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- ・涼しいところで保存してください。
- 周囲の温度が+15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
- 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

！危険ですので、次のことにご注意ください

- ！ バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようご注意ください。
- ！ 火気に近づいたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- ！ 分解したり、改造したりしないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- ・水にぬらさないようご注意ください。
- ・端子は常にきれいにしておいてください。
- ・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

■電池の廃棄について

- ・電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りの

リサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>

■ACパワーアダプター使用機種

- 必ず専用のACパワーアダプターをお使いください。弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障の原因になることがあります。ACパワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。
- ・室内専用です。
- ・DC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- ・DC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ・ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- ・使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- ・分解したりしないでください。危険です。
- ・高温多湿の場所では使用しないでください。
- ・落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・内部で発振音があることがありますが、異常ではありません。
- ・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■撮影の前には試し撮りしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- ・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■商標について

- ・デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- ・**SD**、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™ は富士フイルム（株）の商標です。
- ・DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- ・Macintosh、Mac OS、QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- ・Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- ・HDMI ロゴは商標です。
- ・その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- ・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- ・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- ・カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けなくてください。撮像素子が破損する場合があります。
- ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにしてご注意ください。

■避けて欲しい保存場所

- 次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。
- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
 - ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
 - ・極端に寒いところ
 - ・振動の激しいところ
 - ・油煙や湯気の当たるところ
 - ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
 - ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の天敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。

■結露（ゆづつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなつてからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■メモリーカード取扱上のご注意

- ・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- ・メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- ・指定以外のメモリーカードはお使いになりません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- ・強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- ・静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- ・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・メモリーカードにはラベル類は一切はらわないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- ・パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- ・カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- ・パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- ・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- ・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

お取り扱いにご注意ください

重要! 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

①本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ **本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。**

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ **無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国での利用を前提としています**

本製品の無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を順守してください。ご購入求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

電波によるデータ (画像) の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ **磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。**

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているもの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ **使用周波数帯**

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ **本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**

・産業・科学・医療用機器

・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

(1) 構内無線局 (免許を要する無線局)

(2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

■ **本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

2.4DS/OF4


本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、干渉距離が約 40 m であることを意味しています。



トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	ページ	
バッテリー、電源について	ON/OFF（電源）レバーをONに合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	22、25
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	22
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。	23
	ON/OFF（電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	シャッターボタンを半押ししてください。	—
		非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	151
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		AF オートフォーカス設定のプリ AF を ON に設定していませんか？	プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	104
		撮影モードが  に設定されていませんか？	撮影モードを変更してください。	58、63
	同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—	
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	22、25





症状		ここをチェック！	処置	ページ
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	22、25
		バッテリーは正しい向きに入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	AC パワーアダプターのプラグを正しくコンセントに接続してください。	
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—
充電中にインジケータランプが点滅、またはLCDに ⏻ が表示され充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—	
	バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	184	

■ メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	ページ
メニューが日本語以外で表示されています。	セットアップメニューの 言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	119

■ 撮影時

症状		ここをチェック！	処置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	22, 42
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	126
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	22
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	22, 25
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	28
ピントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	93, 94
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータランプが橙色に点灯していませんか？	インジケータランプが消灯するまでお待ちください。	15
顔キレナビ（顔検出機能）について	顔キレナビ（顔検出機能）が設定できません。	顔キレナビ（顔検出機能）が設定できない撮影モードになっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	168
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	104
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	—
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	93	

症状	ここをチェック！	処置	ページ	
フラッシュに ついて	フラッシュが 発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	168
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	22、25
	フラッシュについて	ドライブモードで連写やブラケットングを選んでいませんか？	ドライブモードを1コマ撮影にしてください。	73
		 電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	 電子音 & フラッシュを ON にしてください。	120
		 電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	 電子音 & フラッシュを ON にしてください。	120
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	175
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	36
高速シャッタースピードで撮影していませんか？		シャッタースピードが $\frac{1}{2000}$ 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを $\frac{1}{2000}$ 秒以下に設定してください。	55、60、62	
撮影した 画像の異常に ついて	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	—
		レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	36
	画像に点状のノイズがあります。	撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	—
	画像にノイズが撮影されます。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。	—
	連写時の動作について	電源がオフになっています。	高温環境で連続使用をしていませんか？ 温度警告が表示されていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。
電源がオフになってしまっています。	気温が高いところで、連写撮影を続けて行っていませんか？	カメラの温度が下がるまでしばらく待ってから再び電源をオンにしてください。	74	

■ 再生時

	症状	ここをチェック！	処置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？ 他のカメラで記録した画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。 他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	— —
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量的設定が小さくなっていますか？	再生音量を調節してください。	120
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないようにください。	10、45
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないようにください。	10、46
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	114
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	124




■ 接続時

症状		ここをチェック！	処置	ページ
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	142
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	132
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	MyFinePix Studio (Windows) を使って、画像を取り込んでください。	131
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	134
	1 枚ずつしかプリントされません。	プリンターの電源は入っていますか？	プリンターの電源を入れてください。	—
		日時が印字されません。	PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？	プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。

■ 無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。

http://faq.fujifilm.jp/digitalcamera/faq_product.html?pid=X



症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンと接続できません。 スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	125、 129
	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
	動画や他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。 動画は送信できません。	
スマートフォンで受信した画像が開けません。	 接続設定のワイヤレス設定 > スマートフォン送信時  圧縮を OFF に設定していませんか？	スマートフォン送信時  圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	

■ その他

症状		ここをチェック！	処置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	22
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	22、25
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
	カメラが正常に作動しなくなっていました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	22、184
音について	音ができません。	43 電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	43 電子音 & フラッシュを ON にしてください。	120








警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。


警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点減)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください (P.93)。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。 適切な明るさ (露出) ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとした。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.126)。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.126)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (P.126)。それでも警告表示が消えない場合は、メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示

警告表示	警告内容	処置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (図 126)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (図 126)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください (図 24)。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (図 126)。
空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直しか電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (図 126)。












警告表示	警告内容	処置
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、  保存設定のコマ NO. を新規に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。コマ NO. を連番に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（  126）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	30000 枚以上の画像をピクチャーサーチしようとしてしました。	30000 枚以上の画像はピクチャーサーチできません。
	複数指定消去を枚数制限以上の画像で実行しようとしてしました。	999 枚を超える画像では、複数指定消去は実行できません。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消しようとしてしました。 プロテクトされているファイルを回転しようとしてしました。 	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（  114）。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません  設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。
回転できません  回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	回転できません。
 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生	—
 実行できません	できない画像を赤目補正しようとしてしました。	

警告表示

警告表示	警告内容	処置
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	<p>プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。</p> <p>プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は MENU/OK ボタンを押して、プリントを再開してください。</p>
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとした。	<ul style="list-style-type: none"> お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像（ ) または動画をプリントしようとした。	<ul style="list-style-type: none"> 動画はプリントできません。 このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
!!	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。

SDメモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	8GB		16GB	
			FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	 3:2		800	1210	1660	2490
	RAW		230		480	
動画*1	 1920 × 1080 60fps *2		26分		54分	
	 1920 × 1080 50fps *2					
	 1920 × 1080 30fps *2					
	 1920 × 1080 25fps *2					
	 1920 × 1080 24fps *2					
	 1280 × 720 60fps *3		51分		105分	
	 1280 × 720 50fps *3					
	 1280 × 720 30fps *3					
	 1280 × 720 25fps *3					
	 1280 × 720 24fps *3					

*1 動画を撮影するときは、CLASS[®]C以上のメモリーカードをご使用ください。

*2 連続して記録する場合、約14分で自動的に撮影を停止します。

*3 連続して記録する場合、約27分で自動的に撮影を停止します。

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

- ✓が付いている機能でも、選択できない設定値がある場合があります。
- 撮影条件によっては機能が制限される場合があります。

オートモード切替レバー		●	● AUTO	● AUTO	● AUTO	AUTO																					
撮影モード (シーン)		P	S	A	M	□	■	AgO	☺	☹	☼	☽	☾	☿	♁	♂	♀	♁	♂	♀	♁	♂	♀	♁	♂	♀	13
連写	1/2	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
BKT	1/2/3/4	✓	✓	✓	✓																						
デジタルテレコン		✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
タッチパネルモード		✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
フラッシュモード ¹⁰	赤目補正 OFF	AUTO	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		4 SLOW	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1/E	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1/E	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	赤目補正 ON	4 SLOW	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1/E	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1/E	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		4 SLOW	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1/E	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		4 SLOW	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フラッシュ調光補正		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
露出補正		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
絞り値		✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ²	
シャッタースピード		✓ ¹	✓ ⁴	✓ ⁴	✓ ³	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓ ³	
シャッター方式	MS	✓	✓	✓	✓	✓ ¹	✓ ¹	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ¹²
	MS+ES	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ¹²
	ES	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ¹ ¹²
プログラムシフト		✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ¹²	

リンク集

富士フィルムでは、デジタルカメラに関するさまざまな情報をホームページで紹介しています。是非、アクセスしてみてください。

FUJIFILM X70 製品情報

製品情報サイトでは、サポート情報やアクセサリーなどがご覧になれます。

富士フィルム X70



ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各種のファームウェア更新情報をご覧ください。

http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/fw_table.html

富士フィルム ファームウェア



撮影の基礎知識

撮影シーンに合わせたレンズの選び方や焦点距離や露出値などのコントロール方法が記載されています。

富士フィルム 撮影の基礎知識



デジタルカメラ撮影ガイド

色んなシーンの撮影方法が記載されています。

富士フィルム 撮影ガイド



FUJIFILM 無料アプリケーション

富士フィルムが提供する無料のアプリケーションを使えば、スマートフォン／タブレット／パソコンで写真の楽しみ方が広がります。

<http://fujifilm-dsc.com/>

富士フィルム Wi-Fi アプリ



MyFinePix Studio の最新版は以下をご覧ください。
<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

富士フィルム マイファインピックススタジオ



RAW FILE CONVERTER の最新版は以下をご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

富士フィルム RAW ファイルコンバーター



主な仕様

システム




型番	FUJIFILM X70
有効画素数	約 1630 万画素
撮像素子	23.6mm × 15.6mm (APS-C サイズ) X-Trans CMOS II、原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品)
記録方式	<ul style="list-style-type: none">・ 静止画：DCF 準拠 圧縮：Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 /DPOF 対応 非圧縮：RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり・ 動画：H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き
記録画素数	<ul style="list-style-type: none">・ L 3:2 (4896×3264)・ M 3:2 (3456×2304)・ S 3:2 (2496×1664)・ ぐるっとパノラマ L (2160×9600; 縦)、(9600×1440; 横)・ ぐるっとパノラマ M (2160×6400; 縦)、(6400×1440; 横)・ L 16:9 (4896×2760)・ M 16:9 (3456×1944)・ S 16:9 (2496×1408)・ L 1:1 (3264×3264)・ M 1:1 (2304×2304)・ S 1:1 (1664×1664)
レンズ	<ul style="list-style-type: none">・ 名称：フジノン単焦点レンズ・ 焦点距離：f=18.5mm (35mm 判フィルム換算：約 28mm)・ 開放 F 値：F2.8
撮影感度	ISO 200 ~ 6400 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 100/12800/25600/51200 は拡張モード
測光方式	TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル
露出補正	- 3EV ~ +3EV (1/3EV ステップ)

システム

シャッタースピード

- **メカニカルシャッター**
 - Pモード時：4秒～ $\frac{1}{4000}$ 秒
 - タイム：30秒～ $\frac{1}{4000}$ 秒
 - **電子シャッター**
 - P、S、A、M：1秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - タイム：1秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - **メカニカル+電子**
 - Pモード時：4秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - タイム：30秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
- 全モード合わせて：30秒～ $\frac{1}{4000}$ 秒
- バルブ：最長60分
- バルブ：1秒固定
- 全モード合わせて：30秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
- バルブ：最長60分

連写

		選択可能な連写速度 (コマ / 秒 [fps])	連続記録枚数
		JPEG	
		8.0	約10コマ
		3.0	カード容量一杯まで

- ◆ ご使用のメモリーカードによって異なります。
- ◆ 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。

フォーカス

- **モード**：シングル AF/ コンティニュアス AF/ マニュアルフォーカス (リング回転式)
- **AF方式**：インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF)、AF 補助光付き
- **AF フレーム選択**：シングルポイント、ゾーン、ワイド / トラッキング

ホワイトバランス

AUTO / カスタム / 色温度 (ケルビン値) 設定 / 晴れ / 日陰 / 蛍光灯 1 / 蛍光灯 2 / 蛍光灯 3 / 電球 / 水中

セルフタイマー

OFF、2秒、10秒

システム

フラッシュ

- 方式：オートフラッシュ
- 撮影可能範囲（感度：1600時）：約30cm～約7.9m

フラッシュ発光モード

- 赤目補正 OFF 時：AUTO/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/コマンダー/外部フラッシュ
- 赤目補正 ON 時：赤目軽減 AUTO/赤目軽減+強制発光/発光禁止/赤目軽減+スローシンクロ/コマンダー/外部フラッシュ

アクセサリシュー

あり（TTLフラッシュ対応）

液晶モニター（LCD）

タッチパネル付き 3.0 型カラー液晶モニター、約 104 万ドット、チルト式

動画

（音声付き（ステレオ））

- HD 1920 × 1080 60fps（1080p）、60 フレーム / 秒
 •
HD 1280 × 720 60fps（720p）、60 フレーム / 秒
- HD 1920 × 1080 50fps（1080p）、50 フレーム / 秒
 •
HD 1280 × 720 50fps（720p）、50 フレーム / 秒
- HD 1920 × 1080 30fps（1080p）、30 フレーム / 秒
 •
HD 1280 × 720 30fps（720p）、30 フレーム / 秒
- HD 1920 × 1080 25fps（1080p）、25 フレーム / 秒
 •
HD 1280 × 720 25fps（720p）、25 フレーム / 秒
- HD 1920 × 1080 24fps（1080p）、24 フレーム / 秒
 •
HD 1280 × 720 24fps（720p）、24 フレーム / 秒

主な仕様

入出力端子	
HDMI 出力	マイクロ HDMI 端子
デジタル入出力	マイクロ USB 端子 (USB2.0 High-Speed)
マイク / リモート端子	φ 2.5mm ステレオミニジャック
電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-95 (付属)
バッテリー作動可能枚数の目安	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーの種類 : NP-95• 撮影枚数 : 約 330 枚 <p>CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。 * 注意 : バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。</p>
充電時間	約 4 時間 30 分 (+ 20°Cにおいて)
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	112.5mm × 64.4mm × 44.4 (25.9*) mm * 突起部含まず、奥行は最薄部表記
撮影時質量	約 340g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
本体質量	約 302g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
動作環境	温度 : 0°C ~ + 40°C 湿度 : 10 ~ 80% (結露しないこと)
ワイヤレス転送部	
準拠規格	IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	アメリカ・カナダ・台湾 : 2412MHz ~ 2462MHz (11ch) アメリカ・カナダ・台湾以外 : 2412MHz ~ 2472MHz (13ch)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

バッテリー NP-95

公称電圧	3.6V
公称容量	1800mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×厚み)	35.2mm × 49.5mm × 10.8mm
質量	約 39g

AC パワーアダプター AC-5VF

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	11.6 VA (100 V) 15.5 VA (240 V)
定格出力	DC5.0 V 1000 mA
使用温度	0℃～+ 40℃
質量	約 32g (本体のみ)

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

- ①仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

再生 ボタン、37, 112
消去 ボタン、42

PROVIA/スタンダード、81
Velvia/ビビッド、81
ASTIA/ソフト、81
クラシッククローム、81
PRO Neg. Hi、81
PRO Neg. Std、81
モノクロ、81
モノクロ+Ye フィルター、81
モノクロ+R フィルター、81
モノクロ+G フィルター、81
セピア、81

アドバンストSRオート、63

人物、63
美肌、63
風景、63
スポーツ、63
夜景、63
夜景(三脚)、63
花火、63
夕焼け、63
スノー、63
ビーチ、63
水中、63
パーティー、63
花、63
文字の撮影、63

赤目軽減オートフラッシュ、55
赤目軽減+強制発光フラッシュ、55
赤目軽減+スローシンクロ、55
AUTO (オート)、54
強制発光、54
スローシンクロ、54
コマンダー、54
外部フラッシュ、54
発光禁止、54

AF (AF 警告)、36, 163
撮影時のボタンロック、12
フラッシュ発光警告、54
プレゼント、37
電子音 & フラッシュ、120

トイカメラ、80
ミニチュア、80
ポップカラー、80
ハイキー、80
ローキー、80
ダイナミックトーン、80
ソフトフォーカス、80
パートカラー (レッド)、80
パートカラー (オレンジ)、80
パートカラー (イエロー)、80
パートカラー (グリーン)、80
パートカラー (ブルー)、80
パートカラー (パープル)、80

AE ブラケットイング、76
ISO ブラケットイング、76
フィルムシミュレーションブラケットイング、76
ホワイトバランスブラケットイング、76
ダイナミックレンジブラケットイング、76

【A～Z】

AC パワーアダプター、25

AE/AF-LOCK 設定、94, 108

AE/AF ロック、93

AE/AF-LOCK 機能選択、94, 108

AE ロック、93

AF-L/AE-L (AF ロック / AE ロック) ボタン、94, 108

AF (オートフォーカス)、36, 93, 94

AF 警告、36, 163

AF 補助光、36, 104

AF モード、86

AF ロック、93

C (コンティニューアス AF)、82

DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン、32

DPOF 指定、138

Fn (ファンクション) ボタン、50

FUJIFILM Camera Remote、129

FUJIFILM PC AutoSave、130

HDMI、146

HDMI ケーブル、117, 142

instax SHARE、116, 125, 140

MENU/OK ボタン、12, 102, 112, 118

MF アシスト、108

M (マニュアルフォーカス)、82

ON/OFF (電源) レバー、28

PC 保存、116, 125, 130

PictBridge (ピクトブリッジ)、134

Q (クイックメニュー) ボタン、47

RAW 画像、95, 96

RAW 現像、96

SD/SDHC/SDXC メモリーカード、22, 24, 173

S (シングル AF)、82

USB 接続、25, 132, 134, 146

WB シフト、65, 66, 67

【あ】

赤目補正、55, 109, 115

明るさ (露出補正)、70

アドバンスト SR オート、63

アドバンストフィルター、80

アフターサービス (修理)、182

アベレージ (測光)、71

位置情報設定、125

色温度、67

色空間、124

インジケータランプ、15

インターバルタイマー撮影、92

液晶モニター (LCD)、15, 16, 32

オート (フラッシュ)、54

オートパワーオフ (自動電源 OFF)、123

オートフォーカス (AF)、36, 93, 94

オートフォーカス設定、103

お店プリント、137

音量 (再生音量)、120

音量 (操作音量)、120

- 【か】**
海外で使うとき、153
外部フラッシュ、144
顔キレイナビ、104
画質モード、105
カスタム設定、98
カスタム選択、107
カスタムホワイトバランス、65,66
画像回転、115
画像サイズ、105
画面（表示の切り換え）、32,38,40
画面のカスタマイズ、33,122
カラー、106
感度、68
感度 AUTO 設定、69
基準 ISO 感度、69
距離指標、85
距離指標の単位、85,122
切り抜き（トリミング）、113
記録画素数、173
ぐるっとパノラマモード、77
減感、97
言語設定、29,119
工場出荷時の設定値、127
合焦マーク、83
コマ NO.（コマナンバー）、124
コマダー、54
コマンドレバー、14
コンティニュー AF (C)、82
コントロールリング、14, 57, 108
コントロールリング設定、108
- 【さ】**
再生音量、120
再生ズーム、39
再生メニュー、112
再生モード、37,112
撮影画像表示、121
撮影可能枚数、167
撮影時の情報、38
撮影メニュー、102
撮影モード、58,103
シーン選択、57,58,63,103
自動電源 OFF（オートパワーオフ）、123
絞り優先、61
シャープネス、107
シャッター音、120
シャッター音量、120
シャッタースピード、59,60,62
シャッタースピード優先、60
シャッターボタン、36
シャッター方式、111
シャドウトーン、107
修理、182
消去、42,113
上限 ISO 感度、69
消費電力設定、123
初期化（フォーマット）、126
シングル AF (S)、82
シングルポイント（AF モード）、86,87
ストラップ、20
スポット（測光）、71
スマートフォン、129
スライドショー、116
スローシンク口、54
静止画撮影、35
- 世界時計、119
セットアップメニュー、118
セルフイー、15,72
セルフタイマー、53
セレクターボタン、12
セレクターボタン設定、122
全押し、36
ゾーン（AF モード）、86,88
増感、97
操作音量、120
操作ボタン/ダイヤル設定、122
測光、71
測光 & フォーカスエリア連動、109

【た】

ダイナミックレンジ、106
タイム撮影、90
多重露出撮影、79
タッチ操作、31, 41
縦横自動回転再生、122
長秒時ノイズ低減、90, 107
低速シャッター限界、69
デジカメプリント、137, 138
デジタルスプリットイメージ、85, 108
デジタルテレコン、57, 64, 111
テレビ接続、142
電源、28
電子音 & フラッシュ、120
電子シャッター、111
電子水準器、34
動画感度、110
動画再生、46
動画撮影、44
動画モード、110
ドライブボタン、73
トリミング、113

【な】

日時設定、29, 119
ノイズリダクション、107

【は】

ハイパフォーマンス、123
ハイライトトーン、107
パソコン接続、131
発光禁止、54
バッテリー、22, 25
バッテリー残量表示、28
パノラマ再生、78
パノラマ撮影、77
パノラマプリント、137
バルブ撮影、90
半押し、36
ピクチャーサーチ、99
ピクトブリッジ、134
被写界深度、61
ヒストグラム表示、34
日付あり設定 (プリント予約)、138
日付ありプリント (PictBridge)、135
瞳 AF、104
表示比率 (HDMI)、117
ファイル名編集、124
ファンクション (Fn) ボタン、50
フィルムシミュレーション、81
フォーカスエリア、87, 88, 89
フォーカスエリア選択、56, 87
フォーカスエリアポイント、87
フォーカスチェック、83
フォーカスピーキング、85, 108
フォーカスモード、82
フォーカス優先、103
フォーカスリング、84, 123
フォーマット (初期化)、126
フォトブック、100
付属品、2

ブラケティング撮影、75
フラッシュ、54
フラッシュモード、54
ブリ AF、82, 83, 104
プリント予約 (DPOF)、138
フレーミングガイド、122
プレゼント、37
プログラム、59
プログラムシフト、59
プロテクト、114
別売アクセサリ、144
ヘルプ (ソフトウェア)、133
補正前画像記録、124
保存設定、124
ホワイトバランス、65

【ま】

マイク/リモートレリーズ設定、110
マイクレベル設定、110
マニュアル、62
マニュアル時モニター露出反映、121
マニュアルフォーカス (M)、82
マルチ再生、40
マルチ (測光)、71
無線 LAN、129
メカニカルシャッター、111
メモリーカード、23,24,167
モニター撮影効果反映、121

【ら】

リサイズ、114
リセット、119
リモートレリーズ、91
レリーズ優先、103
連写、74
露出インジケーター、62
露出補正、70
露出補正バー、70

【わ】

ワイド/トラッキング (AF モード)、86, 89
ワイヤレス設定、125
ワイヤレス通信、56, 110, 113, 129
ワンタッチ AF 時の動作、84, 103

ソフトウェアのお問い合わせについて

- 1** お問い合わせの前にお確かめください。
ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。
- 2** 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ
<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。
- 3** 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。
より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。
 - ・カメラの機種名
 - ・ソフトウェアのバージョン
 - ・エラーメッセージ
 - ・どのようなときにトラブルが発生しますか？／トラブルが発生する直前の操作は？／カメラの状態は？／トラブルが発生する頻度は？
 - ・ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションで修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

- お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でおお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日～金曜日 9:30～17:30/

土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

■修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (日曜日、祝日、
土曜日 10:00～17:00 年末年始を除く)

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

■修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>▶お近くのサービスステーション **【サービスステーション一覧】**
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の<修理ご相談受付窓口>にて
ご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 050-3786-1711 (月曜日～金曜日 9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00 ※日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。